

# 親の眼

愛知県剣道連盟設立70周年記念



第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 第二位 (令和4年4月29日)

目 次	目 次
巻頭言 (一財)愛知県剣道連盟副会長 松本健一郎	実業団だより ..... 14
随 想 (一財)愛知県剣道連盟70周年記念 会長・理事長経験者 ..... 1	道場連盟だより ..... 15
大会結果	中体連だより ..... 16
第20回全日本選抜剣道八段優勝大会 ..... 3	高体連だより ..... 17
第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 ..... 4	愛知県学校剣道連盟だより ..... 18
第69回全日本剣道選手権大会 ..... 5	地区だより ..... 20
第53回愛知県春季少年剣道大会 ..... 6	役員 ..... 25
歴史探訪 宮本武蔵と尾張(あいち) ..... 8	おめでとう 昇段結果 ..... 26
委員会報告	五地区剣道連盟所在地 ..... 30
指導普及委員会 ..... 10	審査料・登録料 ..... 30
強化委員会 ..... 11	準備委員会だより・愛知県剣道連盟ホームページ ..... 31
各部門だより	編集後記 スタッフ写真 ..... 32
居合道だより ..... 12	令和4年度事業計画 ..... 33
杖道だより ..... 12	資料室所蔵史料紹介

第46号



一般  
財団  
法人

愛知県剣道連盟

令和元年四月一日より、名古屋市剣道連盟の会長職を仰せつかりました中京綜合警備保障株式会社 代表取締役社長松本健一郎でございます。

それに伴い愛知県剣道連盟副会長も兼務することになりました。

この度は「観の眼」「巻頭言」への寄稿依頼を受け大変光栄に思うしだいです。

一昨年より、新型コロナウイルス感染拡大、また、変異株オミクロン株の市中感染拡大という状況下の中で、会員の皆様には感染予防対策として「愛知県剣道連盟独自のガイドライン」に従い、各地区における審査会、大会及び稽古会を行っていただいております。

それぞれ地区連盟でのご努力により、当県では感染者集団いわゆるクラスターの発生が報告されていません。

ここに改めて、会員の皆様

には心から感謝するしだいです。

さて、私どもの会社は、愛知県に拠点を置きますALS OKグループの中京綜合警備保障株式会社という警備会社でございます。

グループ会社における行動規範に「武士の精神」を体現

の中に「知行合一」という教えがあります。

中国、明の時代に王陽明という賢人がおこした学問である陽明学の命題のひとつでもあります。

「知って行わざれば知らざるにひとし」で例えば、剣道の目的や特性を理論的にいくら

## 巻頭言

# 「知行合一」

一般財団法人愛知県剣道連盟

副会長 松本 健一郎

(中京綜合警備保障株式会社代表取締役社長)



し、いかなる困難にも正々堂々と立ち向かい、一丸となって目標を達成する。と銘記されています。

「武士の精神」いわゆる「武士のこころ」を尊ぶ社風であり、職務技能の習得となる「武道」が奨励されています。

その「武道」における言葉

当然ながら弊社も、平成一八年四月に和田伊功先生(現愛知県剣道連盟相談役)のご助言をおおぎ剣道部を創部いたしました。

剣道を通じ、心身の健全な育成、社員相互の親睦と協調を図ること。

また、弊社の経営理念でもあります「世のため 人のため 仲間のため」を具現化することを目的としています。

同時に中部地区実業団剣道連盟に加盟させていただき、今日まで活動させて頂いております。

これからも剣道を通じて、人材育成に弛み無い努力を継続し、企業人及び個人としての責任を果たすことができるようまた、剣道の普及にも微力ながら努めてまいり所存です。

末筆ながら愛知県剣道連盟会員の皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げます。

## 随想

## （二財）愛知県剣道連盟70周年記念



愛知県剣道連盟副会長  
安部 秀利  
(理事長在任期間 H23~H27)

私は微力ながら、平成23年から26年まで愛知県剣道連盟の理事長を仰せつかり、皆様には温かいご支援とご協力を頂いて参りました。また、諸先輩や先生方には、叱咤激励としてご指導を頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。

思い出の中から、二点に絞って述べさせて頂きます。

## 一般財団法人への移行

：平成24年10月認可申請

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の施行に伴い、愛剣連では、法人改正委員会（委員長 白井孝一先生）を設立、検討を重ね、一般財団法人としての定款（案）を

まとめました。評議員会並びに理事会に提案し、承認を得た後、新しい評議員の選任手続きを進め、移行認可の申請を行い、「一般財団法人」へと移行することができたのです。定款の作成や法人化に向けての関連書類の作成等、申請に関係された方々のご尽力に心より感謝申し上げます。

剣道の普及振興と剣道理念の実践等を図り、県民の体位向上とその人格の形成に資するという目的を達成するため努力していききたいものです。

## 愛剣連合同稽古会

：会場の変更

合同稽古会は、毎月第1・3月曜日枇杷島スポーツセンターで開催されていましたが、平成25年4月から会場を1階の剣道場から2階の第1競技場に変更しました。参加者と指導者の熱意により内容が充実してきて、剣道場では会場が狭くなったからです。

広くなった会場では、年代は十

代から八十代、段位別では初段から八段までと、いろいろなタイプの方々と「剣」を交えることが出来るようになりました。特に八段の先生方からは、昇段審査会のポイント等、懇切丁寧なご指導を受けられるようになりました。

「交剣知愛」、剣を交えて愛を知ることによって、技術面だけでなく相手を思いやる心（愛）も育ち、精神面でも成長して行けるのではないのでしょうか。今後も愛知県内至るところで、「交剣知愛」の輪を広げていきたいと考えています。



愛知県剣道連盟会長  
大嶽 将文  
(理事長在任期間 H27~R元年)

愛知県剣道連盟創立70周年に際して『親の眼』に記載される機会に、私の剣道の思い出を書いてみたいと思います。

私の出身地は蒲郡市形原町です。第1回全日本剣道選手権覇者

榊原正先生の出身地でもありません。

小学校6年生の後半、初めて竹刀を握り早や65年近くが経過しました。中学時代は中学教員大会個人準優勝の波多野秀夫先生、高校時代は東三河会長匹田勝夫範士、大学時代は第6回全日本剣道選手権優勝者の鈴木守治先生、警察時代は谷鎌吉郎、中村薫両範士と素晴らしい指導者に恵まれたことが、今日の立場があると思っております。

今までの戦歴を振り返ると、中学では愛知県中学総合体育大会剣道競技優勝、高校では国民体育大会出場、東海四県大会優勝、大学では全日本学生大会団体個人出場、社会人では全日本都道府県対抗剣道優勝大会優勝、国民体育大会優勝、全日本選手権6回出場ベスト8が2回、東西対抗5回出場、第62回東西対抗では東軍大将を務め選手生活を終えました。

愛知県剣道連盟も設立70年を迎えることになりました。連盟は昭和27年に、当時の諸先生方の努力によって結成され、昭和62年7月「財団法人愛知県剣道連盟」として新発足し現在に至っています。

本連盟は全国規模の大会等に出場し優勝また入賞し、多くの輝かしい成績を収めています。

特に主催、主管した昭和52年第1回明治村剣道大会が明治村の無声堂で開催されその後、明治大会剣道大会が全日本選抜剣道八段優勝大会として毎年4月に中村スポーツセンターにおいて開催されておられ本年度20回を数えています。

また全国高等学校剣道選抜大会が、毎年3月に春日井市総合体育館において、開催をされ早や31回をむかえています。

毎年、六、七段審査が名古屋において行われており、今年70周年記念行事として、8月に八段審査会が名古屋で開催されることが決定しております。

私は理事長、会長として8年が経過しようとしています。途中新型コロナウイルスまん延により行事大会等が中止延期になりましたが、会員の皆様方の協力により、本年より様々な制約の中でありませんが、大会、講習会ができるようになりました。

愛知県剣道連盟は、剣道は剣の理法の修練による人間形成の道で

ある。剣道の理念を基として、日本の伝統文化である剣道を連盟会員の皆様とともに正しい剣道の普及発展のために努めていきたいと思えます。

終わりに、連盟会員の皆様の益々のご健勝を祈念申し上げ挨拶とします。



愛知県剣道連盟理事長  
祝 要 司  
(理事長在任期間 R元年~現在)

令和元年6月に理事長に就任し、早3年が経過いたしました。その間会員の皆様方、各関係団体の皆様方には、多大なるご支援、ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

諸先輩方が築いてこられた連盟を充実、発展にどのように繋げて行くかを使命として次の項目を基本方針とし、それぞれの目標を定め現在努めております。

- 1、伝統文化としての剣道の正しい普及発展
- 2、強化・指導・教育を通じて連

- 3、盟全体の資質向上を図る
- 3、一般社会への剣道理解の為に広報活動
- 4、資産の効率的な運用

上記の実質的行動として各専門委員会の活発な活動をお願いしております。

まずは組織のコンプライアンス（法令遵守）、ガバナンス（健全な組織運営）の重要性を最優先すべきだと考え、専門委員会（10部門）の充実を図りました。特に新たに倫理委員会を増設、医療委員会の充実は今現在の世の中の状況に重要な働きをしていると考えます。コロナ禍に於ける剣道活動の指針「今後の剣道活動に向けてのガイドライン」の作成。それに沿って、日頃の活動、審査会の運営、大会の実施など安心、安全の中に取り組みることができていると思っております。

強化についても令和元年には、高校の部門で男女とも東海予選で優勝、そろって本国体出場を13年ぶりに成し遂げ、成年男子、高校女子の部門でベスト8に入賞。本年度では、全日本都道府県剣道優勝大会で24年ぶりに準優勝、個人でも全日本剣道選手権大会で

（山田将也選手が第三位、安藤千真選手がベスト8）、全日本居合道選手権大会に於いても3選手総合第5位と成果が出つつあります。

普及委員会では、県全体の資質の向上を目指し、各団体の代表的指導者に年間5回の講習会を実施、自覚と認識を新たにもらうための指導者育成を本年度より実施をお願いしております。

大会では、初めて杖道の全国大会を中村スポーツセンターで開催いたしました。愛知県の杖道普及に繋がっていくと有難いと思っております。

さて本年度は愛知県剣道連盟の創立70周年でございます。12月には愛知県武道館全館で、剣道、居合道、杖道による記念式典を実施いたします。それに先駆け、現在ホームページの刷新、剣道連盟バッジの刷新、剣道連盟手拭の作成、式典内容など新たなことで準備委員会が動いております。今後の発展の為に各会員の皆さま方のさらなるご協力、ご支援お願い申し上げます。皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。

# 第20回全日本選抜剣道八段優勝大会

開催日…2022年4月17日(日)  
会場…名古屋市中村スポーツセンター

大会前日には、全剣連の香田常任理事（試合・審判委員長）より、最新の新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法を本番さながらの模擬試合を実施し解説を頂きました。

大会当日、開会式では、東良美範士（仕太刀）、北海道の古川和男範士（打太刀）の日本剣道形の演武に始まり、教士八段・32選手のトーナメント制による熱戦が展開されました。

愛知県からは、穂園元孝先生、北村真一先生の2名が出場、善戦されました。

## 試合結果

- 優勝 染谷 恒治（千葉県）
- 二位 寺地賢二郎（東京都）
- 三位 栄花 直輝（北海道）
- 三位 平尾 泰（東京都）



前日の試合審判会議にて網代全剣連会長よりご挨拶



香田先生より最新の試合審判法の解説



模擬試合に御協力頂いた愛知県の先生方



コロナ対策万全で選手、大会関係者受付



日本剣道型演武の古川和男範士（北海道）、東良美範士



優勝 染谷先生（千葉県）



内閣総理大臣杯



穂園先生（右側）



北村先生（左側）

# 第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

## 第70回都道府県対抗 剣道優勝大会に出場して



大 将  
近本 巧

本年も、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、剣道大会等の開催も危ぶまれている中、大会を開催していただいたことに対し、全日本剣道連盟をはじめとする関係団体や大会運営にご尽力いただいた方々に対して、感謝の念にも堪えません。

昨年の大会は、コロナ禍の令和3年12月に延期され、本大会は通常通り令和4年4月29日に大阪エディオンアリーナにおいて開催されました。

当県では今回の大会から予選会が実施され、それぞれの部門の選手が選出されました。

当県の選手は以下の通りです。

- 先鋒 中村 謙伸 (星城高校)
- 次鋒 大串 快晴 (早稲田大学)
- 五将 山田 将也 (NTTドコモ)
- 中堅 芳賀 哲士 (大府高校)
- 三将 吉武 剛 (警察官)



開会式

副将 鈴木 隆太 (JR東海)  
大将 近本 巧 (警察学校) 筆者  
というメンバーで試合に臨みました。  
第1回戦、長野県と対戦し、大会1番目の試合であったためか、選手の硬さもあったものの、2対1で勝利しました。選手全員が「ほっと」したのではないかと思えます。  
第2回戦、福島県と対戦し、結果は6対1で勝利。選手の緊張もほぐれて伸び伸びとした試合展開でした。  
第3回戦、ここは前評判も良かった東京が上がってくると思っていました。試合前はここが勝負かなと思っ

いたが東京は初戦で滋賀県に敗退し、当県の相手は沖縄県が上がってきました。結果は4対2で勝利しました。

第4回戦、昨年の大会で奇しくも敗退した熊本県が上がってきました。本年のチームは1人を除いてすべて「九州学院出身」のチーム編成であったが先鋒を皮切りにリードを守って勝利を獲得しました。

準決勝、全国一二を誇る福岡県と対戦、先鋒1本勝ち、次鋒引き分け、五将2本勝ち、いい流れが来たと思われましたが、中堅2本負け、三将1本負け、副将1本負け、そして、大将1本勝ち以上で代表戦という状況でした。

筆者は今までの4試合他の選手に助けていただき、ここ一番が大将の役目だと思いましたが、代表戦までもつれたが勝利することができ大将としての役割を少しでも果たせたかなと感じました。

決勝戦では先鋒が勝利したものの1対5の惨敗で準優勝という成績で大会を終了しました。

今回の大会を通じて、高校生の中村くんが全勝を逃したものの活躍でした。個々の選手は非常に頑張ってもらいました。全員が勝てばチームは勝ちますが、勝つ選手もいれば負ける選手もいる中で、選手がバランス良くチームに貢献することができたことが、今回の結果につながったと思います。終わりに、忙しい合間を縫って強化

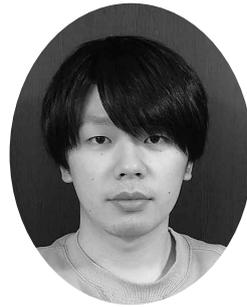
練習に参加してくれた選手をはじめ、愛知県剣道連盟の先生方に対し、感謝申し上げます。それぞれが、更なる高みを目指しこれからも精進して参りますので、より一層のご指導宜しくお願いします。



先鋒 中村 謙伸

## 第69回全日本剣道選手権大会

全日本剣道選手権を経験して

株式会社 NTT ドコモ  
山田 将也  
(第三位)

令和3年11月3日。この日は私にとって一生忘れられないであろう、特別な日となりました。毎年11月3日に行われる全日本剣道選手権大会。普段ならテレビ越しに試合を眺めているだけですが、その日は日本武道館に愛知県代表として立っておりまして。今振



全日本剣道選手権大会 第三位

り返っても夢のように感じます。幼少期からの夢

であるこの舞台に立てる日が来るとは思ってもいなかったです。今回は試合当日のことを振り返りながら、私を感じたことを書きたいと思います。

まず印象的だったことは練習場でのアップです。私は小学生の頃から数々の全国大会を経験してきましたが、このような独特な空気を感じたのは初めてでした。どこを見渡しても実力のある選手ばかりだったということもありますが、私が独特な空気を感じたのは各選手の意識の高さです。所作、柔軟、アップの方法など、ひとつひとつにも

の凄くこだわりがあるように感じ、圧倒されましたがとても参考になりました。

「どうせなら1回は勝ちたい」と私の中でも欲がありましたので、1回戦は普段以上に緊張しました。日本武道館での試合は何度も経験はありますが、本大会の日本武道館はいつもとは違い、あの場に立たなければ分からない独特な雰囲気で、少し動きが固くなってしまいました。しかし、「この雰囲気は吞まれてはいけない」と気持ちを強く持ち、いつも通りの剣道を心掛けながら試合に挑み、その結果ツキを決めて1回戦を突破することができました。1回戦勝利をきっかけに緊張がほぐれ、私の持ち味を生かすことができ、2回戦、3回戦と続けて突破す

ることができました。この時点で、ベスト8という私にはもつたない結果ではありましたが、ここまでできた以上、私の気持ちも「もうひとつ！もうひとつ！」と上を見るようになりました。

準々決勝。ここから1コートになり、より一層独特な雰囲気になりましたが、初出場の怖いもの知らずの勢いに乗っていた私は「絶対勝てる」という自信がありました。また、相手選手が長身ということもあり、相手の間合いで試合をしないことを意識し、勝利を収めることができました。

準決勝に関しては、ここを勝てば決勝戦ということもあり、勝ちたい気持ちが強くなっていったことを思い出しました。前半に手ごたえのあるツキがありました。一本にすることができました。その後、相手選手の得意とする攻めに反応できなかったところを、飛び込み面を打たれ、悔しくも敗退となりました。思い返すと、試合中盤で同じ攻めをされ、一本になりそうな技を打たれていたことが頭をよぎり、足が止まってしまったことが原因ではないかと反省しております。

結果として、3位という大変うれしい結果を収めることができましたが、負けることはどのような相手でも、とても悔しいことだと改めて実感しました。また初出場ということもあり、怖いもの知らずの勢いで運よく勝ち上がることができましたが、夢の舞台に立

ち、「もっと強くなりたい」とより一層感じました。勢いではなく、実力で勝ち上がる選手を目指したいと思います。

私は高校、大学、実業団ともに県外で活動しております。今まで、愛知県に貢献できておりませんが、今回の結果で強くなった姿をお見せすることができたと共に、生まれ故郷である愛知県に少しは恩返しできたのではないかと思います。

今回、夢の舞台に立つことでのいろいろな経験をしましたが、このような楽しい試合は初めてでした。うまく事が進みすぎたことは十分理解しておりますが、もう1度、愛知県代表としてあの舞台に立てるよう、これからも日々精進して参りたいと思います。



# 第53回愛知県春季少年剣道大会

愛知県春季少年剣道大会に優勝して



常滑市立青海中学校  
外部指導者  
(青海剣道クラブ)  
山下 浩城

常滑市立青海中学校は生徒数の減少により部活動が再編され、剣道部は7年前(平成27年度)から募集停止、翌年に廃止となりました。そこで、保護



愛知県春季中学男子 (青海中)

者は市教委、学校に要望し、同好会(青海剣道クラブ)として認めていただき、土日休日の活動及び各種大会等への出場ができています。

県大会に向けての尾南地区予選会は実施できませんでしたが、前年度県大会優勝校として出場させていただく機会をいただきました。当日は西尾市立東部中、名古屋市立東陵中に勝利し、決勝では前年度と同じ岡崎市立矢作中との対戦でした。本数リードで迎えた大将戦を辛くも引き分けにし、優勝できました。選手5



愛知県春季中学女子 (平坂中)

名全てが高校入学直前の3年生であり、中学校最後のよい思い出となりました。

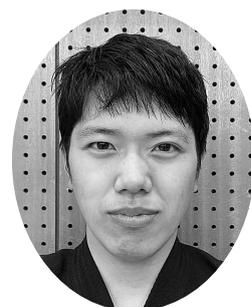
緊急事態宣言等により稽古が十分できない2年間でした。また、面マスクの着用や試合上の規則は選手の自由な動きを抑制しました。しかし、こうしたご指示は、『剣道ができる』という可能性と受け止めることができました。自分を乗り越える好機であると捉え、全てをプラスに変えていくよう選手に話をしてきました。中1でネクスト5と呼んでいた5人は、誰一人も欠かすことのできないオンリー5となつて切磋琢磨して成長することができた振り返っています。

大会2連覇を取められたのは、尾南地区剣道連盟安部秀利会長のお力添えと幼少よりご指導いただいている齋年寺道場剣志会下山博之道場主を始めとした諸先生方のお陰です。この場をおかりして御礼申し上げます。ありがとうございました。

現在は校区の中学剣道人口が減少し、クラブ活動ができませんが活動再開に向け、卒業生、保護者で時折剣を交え、その時を待ちたいと考えています。

結びになりますが、本クラブの選手を始め、少年剣士たちが剣道で培った精神で不透明な時代に力強く踏み込み、地域に貢献する人材となつて新

な未来を切り拓いてくれるものと祈念しております。今後ともご指導の程、よろしく願います。



西尾市立平坂中学校  
監督  
近藤 憲秀

平坂中学校女子剣道部は、全国大会優勝を目標に日々の稽古に励んでいます。しかし、新型コロナウィルスの影響で、なかなか活動ができませんの状況が続いていました。その中で、県大会が開催されました。今大会もつて大会に臨み、優勝を目指しました。

県大会の初戦は、応時中学校でした。初戦は4-0で勝利し、チームに勢いをつけることができました。

2回戦は横須賀中学校と対戦しました。3年生がそろっているチームとの対戦となりました。先鋒、次鋒は、足を使って、集中した試合運びをするのができました。中堅は先に一本をとったものの相手に取り返されてしまいました。副将が足と竹刀をうまく使い、相手を下げさせ、自

分のペースで試合をすることができました。

準決勝の相手は、西三大会の決勝戦で対戦した幸田北部中学校でした。西三大会では、勝利したものの、不安定な試合運びをしてしまいました。今回は安定した試合運びで勝ち切っていきたいという思いをもって試合に臨みました。先鋒、次鋒が勝ち切ることができ、中堅戦では、先に相手の間合に入り、相手を下げたところを面で捉えることができました。前三人で勝利を決め、安定した試合運びをすることができました。選手たちの西三大会からの成長が感じられた試合でした。

決勝の相手は、豊橋北部中学校でした。決勝戦では、相手よりも先に間合に入ったり、相手の特性に応じた試合を展開したりすることができました。先鋒、次鋒、中堅と勝利し、チームの勝利が決定し、優勝することができました。

部活動が制限されている状況の中で、県大会に向けた準備を選手たちが自ら考え、行動したことが、今回の経験を活かせられたことが、今回の安定した試合運びにつながったと感じました。これからも、日々の稽古を大切に、目標である全国制覇に向けて精進していきたいと思えます。

第53回愛知県春季少年剣道大会  
(小学生の部)優勝 洗心道場



洗心道場  
内田 信之

令和4年3月20日(日)稲永スポーツセンターに於きまして、愛知県内5地区の予選を通過いたしました小学生の団体(チーム)が参加し、今年度最後の大会として臨みました。



コロナ禍で大会開催が危ぶまれる中、実施していただきました(二財)愛知県剣道連盟様、審判の先生方に厚く御礼申し上げます。

昨今、少年剣道人口が著しく減少している中、小学6年生にとっては最後の試合となり、大会が中止になると更に剣道に対する意欲もなくなり、しいては翌月から中学生になって剣道離れし、他の競技へ移ってしまう。昨年ま



ではその傾向が見られ中学生の剣道人口が減少いたしました。コロナ感染症は大変やっかいなものですが、しっかりと感染対策をとって開催いただいたことに深く感謝いたします。

たまたま、洗心道場が優勝させていただきましたが、どの試合も接戦で実りある体験をさせていただきました。出場した選手皆、今後も剣道を続けてくれることでしょう。

# 歴史探訪 7

## 宮本武蔵と尾張(あいち)

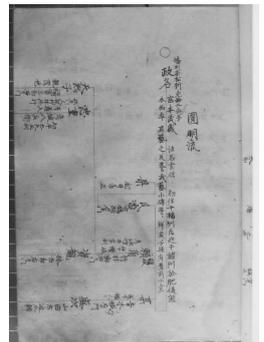
今回の歴史探訪は「尾張名古屋と宮本武蔵」です。まずは、宮本武蔵が尾張藩にしばらく滞在して円明流なる剣術流派を尾張藩に定着させたという事実に関する文献史料から・・・。

武術史研究者として著名な山田忠史先生(故人・元愛知県立熱田高校教員)は、昭和40年代の頃に書き溜めた『尾三剣士略伝』(ガリ版印刷、未刊)に、

宮本武蔵政名(1584-1645)の名を加え、「尾張には藩主徳川光友の頃来るも、既に柳生兵庫利厳及びその一門長野五郎右衛門政成等おるを以て、仕を勧めらるも、肯んぜず、客遇され留ること三年、大いに門人を養ふ。林市郎右衛門資竜、彦坂愚入忠重、福富天然子親重等ありて、円明流と号し



宮本武蔵肖像画  
(明治42年刊『宮本武蔵』の口絵から)



「張藩武術師系録」円明流の項冒頭(名古屋市蓬左文庫所蔵)

て門葉大いに栄ふ」と記しています。これの原典は名古屋市蓬左文庫所蔵の徳川家文書史料ですが、その一部を本委員会の榎本委員が昭和55年頃に写真撮影していたので、円明流系譜の冒頭の写真をお借りして掲載します。

尾張藩の剣術といえは尾張柳生家の新陰流ですが、それについて円明流の二刀での稽古も盛んに行われていたようです。けれども明治維新後は次第に廃れたようです。

『尾三剣士略伝』には、さらに「尾張には笠寺観音東丘に左右田一門が延享元年建たる新免武蔵守玄信之碑、および広路町新福寺(半僧坊)に市川長

之一門が寛政五年建てたる新免政名碑あり」と記されています。そこでこの二つの地を訪れました。

まず、昭和区広路町にあります半僧坊新福寺を訪れました。1885年(明治18年)に名古屋城下の南大津町に静岡県奥山半僧坊

方広寺(臨済宗方広寺派の本山)の別院として建立され、1910年(明治43年)に現在地に移されました。

「半僧坊」の由来は、方広寺開山の無文元選禪師(むもんげんせんぜんじ)の海難事故を救った弟子が入門する際に禪師から「姿は俗人だが心は僧。故に汝は半僧坊だ」と言われたことによる。また、「半僧坊」は観音様の化身だったと言われ、方広寺では、鎮守として祀る。新福寺本尊の阿弥陀如来頭中には観音様が収められています。境内には尾張藩の円明流の門下が宮



昭和区広路町の半僧坊新福寺



「剣豪宮本武蔵之碑」の案内



宮本武蔵碑の解説  
(名古屋市教育委員会)



表面には「新免政名之碑」と彫られている



「新免政名供養碑」

本武蔵の百四十九年忌供養に建てた宮本武蔵ゆかりの「新免政名供養碑(しんめんまさなくようひ)」があります。もともと新豊寺(昭和区南山町)にあったものを新豊寺が廃寺になったため、ここに移されたとの事です。

この新福寺が宮本武蔵と直接関わりがあるというわけではありません。ただ宮本武蔵が名古屋を訪れていたことは確かです。武蔵が当時一時滞在したとされる笠寺天満宮東光院を訪れました。

東光院は、笠寺笠覆寺(笠寺観音)十二坊のひとつとして創建。東光院に

は武蔵にまつわる遺品が残されています。

一点目が武蔵自筆の書「南無天満大自在天神」の掛軸で「南無」「天神」を右手、「天満大自在」を左手で書き分け、この「天満大自在」の五文字は鏡文字で書かれています。また「天神」の二字を近くでよく見ると梅の花が書き添えられています。これは東光院にまつられている天満天神・菅原道真の家紋が梅鉢であることに関係していると考えられます。

二点目が宮本武蔵の肖像画。熊本市の島田美術館にあるものとはほぼ同じ構図です。後年、武蔵の弟子が画家に書かせたものようです。

絵の上部に書かれた「運在天兮勝在人兮」の文字は、「運は天にあり、勝ちは人にある」という意味です。

三点目は自作の木刀。木刀は樫の木でやや短めに作られており、武蔵が左手用に削ったとされています。

以上遺品三点は武蔵が逗留した縁で、武蔵の百年忌に笠寺観音に顕彰碑が立てられた時、東光院に奉納されたと伝えられています。

以前は見ることができたそうですが、現在では、三点とも見ることができませんでした。名古屋市南区のホームページ『宮本武蔵と南区』のページに掲載されています。ぜひ一度ご覧下さい。

次に東光院から200m北の笠覆寺

(笠寺観音)を訪れました。

笠覆寺は尾張四観音の一つで、「笠寺」の地名の由来となった、1300年の歴史を持つ寺です。県や市の指定文化財が多数保管されており、境内には芭蕉句碑(千鳥塚春雨塚)、切支丹燈籠、愛智塚、笠寺台塚などの史跡や文化財が多数のこっています。

その一つに冒頭記載した「新免武蔵守玄信之碑」と彫られた顕彰碑がある。今回、あの有名な巖流島の闘いから

10年以上過ぎた以降にこの尾張を訪れ

ていた剣豪宮本武蔵のかかわりのあるこの地を散策して、発見の連続でした。

また、近くの笠寺公園には、あの長寿姉妹の「きんさん桜きんさん桜」があります。樹齢1500年といわれる岐阜の本巢の淡墨桜の若木が「健康と長寿」の願いが込められ植樹されました。

ぜひ、皆様もゆかりの地を訪れ、新たな発見、長寿のきっかけになれば幸いです。(文責 森園 昭俊)

※南区役所発行の南区史跡散策路等参考



笠寺笠覆寺



笠寺天満宮 東光院



正面に「新免武蔵守玄信之碑」と彫られている



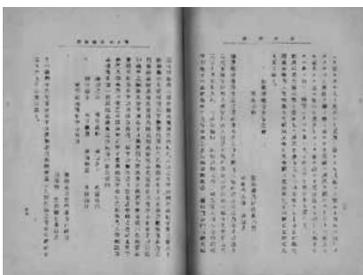
宮本武蔵顕彰碑



入口すぐ南側に東光院の案内看板が設置されている



宮本武蔵遺品の一般公開禁止の告知



半僧坊碑文解説



『宮本武蔵』奥付



笠寺観音武蔵碑文解説



平成25年1月に南区役所より移植



きんさん桜



ぎんさん桜

# 指導普及委員会

～体制及び活動方針～



指導普及委員長  
尾野 博之

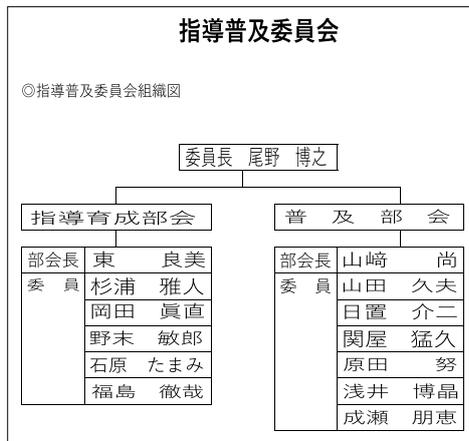
一昨年より、新型コロナウイルスの感染拡大、また変異株オミクロン株の市中感染の急速な広がりを見せ、なかなか終息とまではいかない状況です。さてこのような現状の中、指導普及

委員会も新たに組織改編を行い、「剣道の普及、質向上を図ること」を方針に掲げ、目的遂行に向け次に掲げる課題に取り組んでまいります。

- (1) 指導者の人材育成
- (2) 指導者及び審判員の選考
- (3) 女性指導者及び女性審判員の人材育成
- (4) 稽古会、講習会等の企画・計画

この課題に取り組むため、指導普及委員会も従来の構成ではなく、二部会を配し、委員にはそれぞれの分野でのエキスパートを起用しました。

さて、指導者の人材育成の課題に取り組むべく、新規事業として指導者講習会を立ち上げ、その内容の充実を図るため両部会長との検討を幾度となく重ねてまいりました。



次に講師（委員）のための研修会を部会長が中心となり進めてまいりました。

この研修会の目的は「剣道講習会資料」全日本剣道連盟作成を基に指導法、日本剣道形、審判法それぞれの意思統一を図ることが主たる目的でありました。

このように指導者講習会の準備をして、講習内容の充実を図っている次第です。また、講習生については、年度内に3回、同一メンバーで実施する。3回終了した者には、連盟会長名で終了証を交付することになっていきます。

講習生については、各地区及び各団体より3名ずつ推選された方々です。男性については7段以上、女性については6段以上。

第1期講習生については、次のとおりです。

## 剣道指導者講習会参加者一覧

令和3年10月24日(日) 刈谷 計35名

No.	段位	氏名	年齢	地区	No.	段位	氏名	年齢	地区
1	7	新川 芳朗	67	尾張	19	7	加藤 佳之	47	中体連
2	7	関本 和秀	63	尾張	20	7	佐藤 祐広	39	中体連
					21	6	丹羽 良平	45	中体連
4	7	白石 裕章	64	名古屋	22	7	阪野 理成	50	警察
5	7	福田 武雄	60	名古屋	23	7	外山 浩規	47	警察
6	7	鈴木 篤	54	名古屋	24	7	清水 基史	46	警察
7	7	原田 努	65	尾南	25	7	高橋 博美	47	刑務官
8	7	山崎 広子	55	尾南	26	7	井 真美子	46	刑務官
9	7	河西 勝	51	尾南	27	7	小野田幸治	46	刑務官
10	7	鈴木 正行	52	西三河	28	7	高井田健蔵	52	道場連盟
11	7	川澄 洋	45	西三河	29	7	上山 浩司	52	道場連盟
12	7	森田 智之	45	西三河	30	7	毛利 隆史	51	道場連盟
13	7	大木 宏恭	54	東三河	31	7	和田 辰己	57	実業団
14	7	奥平 裕久	59	東三河	32	7	真城 進	52	実業団
15	7	宮内 賢一	56	東三河	33	7	原田 広昭	49	実業団
16	7	田中 勝明	55	高体連	34	7	成瀬 朋恵	54	女子部
17	7	山崎 嘉一	50	高体連	35	7	則竹 浩子	60	女子部
18	7	今道 基弘	45	高体連	36	7	橘 仁美	47	女子部

愛知県剣道連盟の指導者が剣道を正しく理解伝承して、まわり道に思っても「基本」を身につけることを目的とした講習会です。会員皆様の積極的な参加をお願いします。



指導育成部会部会長  
東 良美

普及部会は、女性剣道指導者及び女性審判員の育成を目指し、将来的に指導者講習会に女性講師として、参画できる体制を図ることが目的です。



普及部会部会長  
山崎 尚



最後になります。祝理事長より「剣道の普及、質向上を図るため」この命題を受け、委員会として企画、計画した次第です。

どうか、会員の皆様には、ご理解の上、今後の指導普及委員会活動にご協力賜りたいと思います。

令和3、4、5年度 愛知県指導者講習会 予定表	
<b>指導育成部会</b> (1期生) ① 令和3年10月24日(日) 実施 場所 刈谷市体育館 ② 令和4年5月21日(土) 場所 スカイルホール 豊田	<b>普及部会</b> (1期生) ① 令和4年3月21日(月・祝) 場所 枇杷島スポーツセンター ② 令和4年7月16日(土) 場所 県武道館
<b>審判法</b> 指導育成部会(合同) 普及部会 令和4年8月27日(土) 瑞穂パロマ (終了証を交付する)	
(2期生) ① 令和4年10月30日(日) 場所 瑞穂パロマ	(2期生) ① 令和5年2月5日(日) 場所 瑞穂パロマ

そして、今後の講習会日程については、図のとおりです。

まずは、強化委員を紹介します。穂園元孝、北村真一、倉成健治、中村隆信、近本巧、勝野伸太郎、上山敏広、溝口夏樹、下山博之、佐藤祐広、山崎広子及び今道恵子の計12名で、皆さん「顔良し」、「腕良し」の方ばかりです。

強化委員会では、一般、大学生、高校生、中学生、小学生の各部門から強化選手を指定して強化稽古会への参加



強化委員長  
平井 道典

## 強化委員会



令和3年度の強化稽古会は、厳しいコロナ禍でしたので計画の半分程度しか実施することが出来ませんでした。また、各部門の全国大会等は皆様ご承知のとおり中学生、小学生の全国大会の多くは中止となりました。一般では、東海四県と国体が中止となりましたが、男女の都道府県対抗剣道大会が開催されたものの残念ながら男女ともに準優勝チームに惜敗してベスト16に

を招聘し、各部門で開催される全国大会等での優勝を目標にして、試合に勝つための技術力を身に付けさせることを最重点としての打ち込み稽古、基本稽古及び試合稽古等の厳しい稽古を行い、全国大会に出場する各部門の代表選手を鍛えています。稽古日は、愛知県武道館で土曜日の午前9時から約3時間でおおむね2回の実施を計画しています。



令和4年度においても、国体、都道府県及び東海四県の大会等での優勝を目標にして4月9日から強化稽古会を実施しています。まだまだ新型コロナウイルスの影響があり、計画とおりに強化稽古会を実施することが出来るかわかりません。しなしながら、強化委員会としては、愛知県警の特練との合同稽古や以前のような厳しい稽古ができる環境ではありませんが、「今」やれることを精いっぱい実施して来るべき大会に備えています。本年度は、特に、高校生、中学生及び小学生の更なる強化に力を入れて取り組んでいきますので、会員皆様のご支援とご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。また、会員の皆様には、新型コロナウイルスの収束した折にはどうぞ強化稽古会に顔を出してください。お待ちしております。



指導強化

# 居合道だより

## 第56回全日本居合道大会 都道府県対抗優勝大会



監督  
木ノ本みゆき

コロナ禍で初めて開催された全日本居合道大会は厳戒態勢の中で始まりました。前日の監督会議では、今までにない案内に従って、実際に歩いて各県

別に会場への動線を確認する程の徹底した対策を講じられているように感じました。

居合道は申すまでもなく、日本固有の伝統文化である武道であり、誇りと品格をもって日々の修練をしております。日本刀を手にして、刀の操法と静と動、機に応じての身体運用の修練を通して人間形成を図るものであり剣道とは表裏一体の関係にあります。

今年度は、6月27日に初めて「全日本居合道大会の県予選会」を開催して頂いて、代表選手を目指す者は十分な修練が出来ない状況の中でも、今まで練磨した成果を発揮して、五段・六段・七段各一名ずつ選ばれた三名であります。



毎月の県合同稽古会の後と、特別な強化稽古3回の会場を確保して、礼式から全剣連居合を見直し、選手それぞれの良い所は確実にして、更に注意点を意識させて、癖は基礎から叩きなおして強化をして参りました。中でも私が一番大切にされたことは「メンタル面の強化とチームワーク」です。監督として出来る事は選手が伸び伸びと刀を使えるようにする事です。

大会当日、選手名簿で愛知県が最年少チームである事を確認し、益々伸び伸びと演武する事を意識出来ました。

試合が順調に進行されて、我々は密を避け人通りの少ない廊下で、対戦相手を意識するのではなく、今まで稽古してきた己を敵と捉えて今の自分と勝負するように気持ちを集中させておりました。

結果は五段と六段がベスト8、七段は二回戦惜敗でしたが、愛知県としては総合5位の結果を得ることが出来ました。居合道部としては初の快挙です。メンタル面の強化にも重点をおいたことで初出場の選手も平常心で試合に臨むことができ、最高の演武を見せてくれて、選手が自分の力を出し切ったと感じました。各選手が目標としている選手まで勝ち上がり対戦する事は出来ましたが、もう一つの所が足りず反省として残りました。

私は第54回の高知大会でも監督を務めました。今回の強化から当日までの手応えをしっかりと感じる事が出来て大変勉強をさせて頂きました。

コロナ禍での開催という事で、全剣連ご指導の感染予防ガイドラインを基に、主管である東京都剣道連盟の皆様との綿密な、実施にあたってのガイドラインで、環境整備、選手監督の動線ルー

トの徹底、試合毎に選手監督の待機席の消毒、監督旗の消毒など細やかな安全管理をして守って頂けた事は本当に感謝の念でいっぱいです。

選手の皆さんには、今回の結果に満足することなく、この経験を今後活かして更に精進されて確実なる実力を求めて欲しいと思います。

最後に愛知県剣道連盟理事長はじめ、先生方の居合道に対するご理解とご支援を頂いて本大会に向けてご指導を賜りました事、皆様から頂いた応援に心より感謝御礼を申し上げます。ありがとうございました。

# 杖道だより

## 杖道の活動および全日本杖道大会



杖道委員長  
前田 新吾

令和3年度杖道部最大の出来事は、10月17日(日)中村スポーツセンターにおいて「全日本杖道大会」が開催されたことです。大会の内容については、祝理事長から「剣窓」令和4年2月号

にご紹介頂いております。

重複いたしますが、ご容赦願います。

「全日本杖道大会」は昭和49(1974)年第一回大会が東京で開催され、以降毎年開催され、第48回大会が愛知の地で開かれることになりました。(但し、46回大会は台風上陸により、47回大会はコロナ禍により、夫々中止となりました)。これまで北海道から九州まで全国各地で開催されてきましたが、愛知では一度も開催されることはなく、私共としては、大会にできることはあっても、受け入れ側として準備作業をしたことがないため、全剣連からお話が



総出で受け入れ準備をしなければと思っていました。理事長から、折角地元で大会があるのだからできるだけ選手を出した方が良く、愛剣連には大会委員会があつて大会準備は慣れているからとの言葉を頂き、多くは選手として出るようにし、準備については大会委員の皆様のお世話になりました。大会運営についての全剣連との調整打ち合わせについては事務局長が綿密にされ、前日の会場設営及び当日の試合運びについては大会委員長以下委員の先生方にご尽力いただきました。杖道部員だけでは心許なかつたのですが、愛剣連挙げてご助力をいただき無



事終えることができました。杖道部会員同を代表し厚く御礼申し上げます。

杖道の試合は、三組の出場者が、夫々二人一組で杖・打太刀となり、決められた型6本を途中3本で仕打交代して演武し、その優劣で判定されます。愛剣連からは、初段の部で國保・平賀

組が優秀賞に輝きましたが、他の段では残念ながら決勝に駒を進めることができませんでした。ただ、途中で負けたりはいえ、多くが1対2の僅差で敗れています。紙一重だと思しますので、今後さらに稽古を積んでいけば、上位を狙えるものと期待しております。

令和4年2月20日昭和スポーツセンターにおいて審査会を催しました。今



回は女性の受審が多く受審者37名中女性13名でした。特に1級では13名中5名が女性でした。また、五段では女性2名が合格、その他の段位でも女性が多く合格され、女性の社会進出が叫ばれている世の動きに合致したものと、多いに期待しております。

ここで杖道の歴史を振り返ります。杖道は、昭和31年に全剣連に加入し、43年に神道夢想流を中心に制定形が定められました。中止となった神道夢想流杖術は、江戸時代初期に夢想権之助勝吉によって創始されました。夢想権之助は諸国を武者修行中、宮本武蔵と立ち会って敗れ、筑前国(福岡県)宝満山竈門神社に籠り祈願し、満願の夜、

夢の中に童子が現れ「丸木をもって水月を知れ」とご神託を授かり、種々工夫し、長さ3尺2寸1分(128cm)直径8分(2.4cm)の檜の棒で「突けば槍 払えば薙刀 持たば太刀 杖はかくにも外れざりけり」といわれる杖術を編み出し、再度武蔵に挑み、遂に破った、あるいは引き分けたとも言われています。その後、福岡藩黒田家に藩外不出の御留の武術として脈々と伝えられてきました。

神道夢想流杖術では、竈門神社の境内に、杖道発祥の地として夢想権之助神社を昭和42年に創建し、2年に1度流祖祭として奉納演武を実施しています。漫画「鬼滅の刃」が話題になっていますが、その主人公「竈門炭治郎」に因み、竈門神社がその発祥の地・聖地と脚光を浴び、訪れる人が多いと言われています。

杖道は、攻撃を主とせず、相手の攻撃に応じて変化し制圧するのが本旨で、平和を希求する武道です。素朴な檜の棒一本あればできます。前後、左右、表裏のない棒を、両の手一杯に手の内を使って振れば、末梢神経の刺激にもなり、気分爽快、健康増進にもなるかと思えます。老若男女どなたでもできます。

## 実業団だより



中部地区実業団剣道連盟  
事務局長  
神谷 光 顕

新型コロナウイルスの感染者が国内で初めて確認されてから、足掛け二年ものコロナ禍での生活が続く、国民の生活はもとより企業や医療・教育・スポーツ等あらゆる分野で物心共に致命的なダメージを受けています。

日本経済は世界の経済と同様に巣ごもり需要の恩恵に浴する一部の業種がある一方で、苦しい事業環境に置かれている業種も多く、コロナの感染状況に左右される未曾有の混迷が続いています。

当実業団剣道連盟は、愛知県・岐阜県南部・三重県・静岡県に拠点を置く企業から成り立っており、この約6割が機械工業を中心とした製造業となっています。

今般の新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、社会環境や日常生活が大きく変化し、急速なデジタル化や働き方改革の進展が著しく、コロナ禍が長

期化する中、感染症への対応と経済を如何に両立させるかという難題に対し、各企業は自社の状況に応じて対策を続けています。

コロナ禍での直接的な対応として、福利厚生の見直しが挙げられます。職種や職場環境等によって、対応は様々となっていますが、福利厚生等の一環としてクラブ活動が行われている企業では、活動費の削減や感染防止を目的とした活動休止を続けている企業が多くあります。これに伴い、当連盟からの退会を申し出る企業もありました。

また一方で、コロナ禍の生活と仕事を前提に「ウィズコロナ」に踏み出して、リスク管理徹底のもと、徐々に活動の機

会を取り戻す企業もあります。

長期化するコロナ禍の健康と暮らしの安全・安心の確保の面では、ウィルスから身を守るといった健康だけでなく、長期化する「ステイホーム」での体力の維持・向上といった健康づくり面への意識も企業内で高まってきています。

また、テレワークやデジタルコミュニケーションの導入により、オフィスとは別の場所で業務を遂行する柔軟な働き方が広がる中、直接的なコミュニケーションが減り、業務だけでなく業務外においても、対人とのコミュニケーション機会の減少が課題となっています。



優勝 ネットヨタ名古屋



優勝 パナソニックデバイス SUNX

様々な分野でデジタル化が進む一方

で、リアルな場所・体験が生むデジタルでは感じることでできない視覚・聴覚・嗅覚・触覚を伴った価値や効果が強く再認識されるようになっており、企業では感染防止対策を講じつつ、場所・空間を共有したリアルならではの価値を得るための工夫も模索しています。

このような状況の下、当連盟では十月に中部地区実業団大会を開催致しました。

当初は七月の開催を予定していましたが、緊急事態宣言解除後のリバウンドへの懸念や会員各社の慎重な対応等から開催を断念し、延期としました。

その後、職域接種開始によるワクチン接種の加速化とコロナ感染の小康状態が続き、大会開催に至りました。

出場チーム数は、団体戦では男子18チーム、女子8チーム、個人戦では、男子82名、女子29名で、通常時の3分の1程度の参加となりました。

二年ぶりの開催となりましたが、愛知県剣道連盟はじめ会員企業や多くの関係者の皆様からの絶大なご支援により、成功裏に終えることができました。

厳しい経営環境下にもかかわらず、大会運営へのご理解とご協力を賜りました皆様方に、改めて厚く御礼を申し

上げます。

大会に参加した選手の皆様には、コロナ禍において多くの制約のもと稽古に励み、創意・工夫・努力により所属企業の発展にも尽力し、万全とは云えない環境の中、勇猛果敢な試合展開で大会を盛り上げていただきました。

大会結果は、団体男子にネットヨタ名古屋が二大会ぶり二度目の優勝を果たし、団体女子では本大会最多優勝回数を誇るパナソニックデバイスSUNXが優勝を収めました。

個人の部では、六・七段の部に梅本 拓人選手（J R 東海）、五段の部に井上隼選手（生川倉庫）、四段の部に里山優貴選手（大同特殊鋼）、三段の部に瀬尾洸太郎選手（大同特殊鋼）、二段以下の部に稲葉琉輝選手（日本耐酸塩工業）、女子の部に西端祐貴選手（パナソニックデバイスSUNX）がそれぞれ優勝を果たしました。

実業団剣士は、選手である前に、経済社会、企業を支える礼節と常識を備えた良き社会人であるべきであり、剣道はその修養の場として鍛錬を続けています。

当連盟が発足し、初代会長の土川元夫氏は、第1回大会の挨拶で「この連盟は、実業人自らが剣道の良さを理解し、実業界により普及発展させるため

に結成したもので、剣道の精神は道場の修練を基に職場で人に接し、仕事に

熱意を持って打ち込むことよって更に修得される。実業人の一人でも多くが剣道を学び根性の精神を発揮し、職場の柱として中部経済の発展、ひいては我国文化産業の発展に寄与していただきたいと念願する。」と述べられました。

コロナという逆風の中であっても、実業人として恥じない人間形成のために剣道が続いていかなければなりません。

デジタル化が急速に進む中、Eメール、SNS、オンライン昼食会、オンライン飲み会・・・とコミュニケーションツールがどんなに発展しても剣道の対人稽古がオンラインで可能になる日は来ないと思います。

長期化するコロナ禍に今後の道筋が見えず、稽古の機会を無くす剣道人が多い中、剣道界も「ウイズ・コロナ」のフェーズに入り、日本伝剣道を発展させていかなければなりません。

いままで当たり前だと思っていた日常の尊さをかみしめ、剣道においてもマスクをつけず十分発声して稽古できる日を待ち望みたいところですが、試行錯誤を積み重ねながら、続ける手立てを模索していきたいと考え

ております。

当連盟の活動を支援していただいている愛知県剣道連盟ならびに関係者の皆様には、引き続きご指導を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

終わりに臨み、愛知県剣道連盟の創立70周年にあたり心からお慶び申し上げます。輝かしい歴史と伝統を継承しつつ、新しい時代に向けて、更なる飛躍を遂げられますよう祈念致します。

## 道場連盟だより



愛知県剣道道場連盟  
事務局長  
内田 信之

令和3年度は、4月3日の第108回研修会に始まりましたが、コロナウイルス感染症拡大に伴い、個人戦の全国予選、および全国大会も延期となり、島根県で開催予定でした第39回全国道場対抗剣道大会が中止となり先行きが不安な中、何とか全国道場少年剣道大会が、令和4年1月5日、6日と大阪にて開催されました。

愛知県選手は、小学生女子個人戦で

第55回 全国道場少年剣道大会・全国道場少年剣道選手権大会



中学の部準優勝 森島 一稀



小学女子の部3位 大嶋 虹乃美

大嶋虹乃美（久田剣道場）が3位、中学生男子個人戦で、森島一稀（洗心道場）が準優勝と素晴らしい戦績を残してくれました。



中部地区 体験・実践発表会（石川県）



小学生の部 最優秀賞 猪飼 結（洗心道場）  
中学生の部 優秀賞 酒井 明飛（江南武道館）

中体連では、剣道連盟から提示されている「今後の剣道活動に向けて」と、各教育委員会から提示されている「部活動運営について」のガイドラインに準じて、各学校で感染症対策を徹底し、



愛知県中小体連  
剣道専門委員長  
佐藤 祐広

コロナ禍における大会運営

中体連だより

令和4年度は、各種行事が開催されることを願い準備を進めております。

また、本年の全国道場対抗剣道大会と小、中学生個人選手権大会は愛知県開催となるため、昨年11月27日28日と（二財）全日本剣道道場連盟の豊村東盛範士、栗田和市郎範士、愛知県からは、東 良美範士、北村真一教士の講師の先生方をお招きし中部地区指導者講習会を開催いたしました。ご来賓で（二財）全日本剣道道場連盟 近藤勁助副会長、（二財）愛知県剣道連盟 祝 要司理事長のご臨席をお願いいたしました。

積古方法を工夫しながら活動しています。そんな状況の中、本年度は全国中学校総合体育大会が開催されることとなり、七・八月は、各都道府県大会等の予選大会を行うことができました。目標となる大会ができたことは、生徒たちにとって、たいへん励みになりました。

喜ばしい反面、予選大会の運営はたいへん苦慮しました。特に配慮した点は三つです。

一つ目は、できる限り三密を避けることです。まず、会場内の入場制限を行いました。入場できる者を大会役員と監督、選手のみとしました。次に、試合会場数を以前の半分の四試合場で行い、更に男女で時間をずらして運営しました。これにより、会場内の人数を大幅に削減できました。

二つ目は、時間の短縮です。これまでの県総体は、予選リーグ後に、決勝トーナメントを行っていましたが、本年度は、トーナメントのみとしました。また、団体戦で行われていた、引き分け後の延長戦もなくなりました。更に、開閉会式では、大会役員の挨拶をなくして注意事項の周知のみとしたり、代表者のみで表彰を行ったりして簡略化しました。これらの変更により、選手たちが会場で過ごす時間を短縮できま

した。

三つ目は、熱中症対策です。夏の大会は、ただでさえ熱中症を引き起こしやすく、加えて、本年度はマスクを着用しての試合となり、選手の体調面を心配していました。これは、全国中体連剣道専門部から提示された、「小休止と給水時間の設定」に準じて行い、危険のないように努めました。

大会を終えて、課題も残りました。様々な配慮をする中、一日で大会運営を行ったことにより、終了時刻が遅くなってしまったこと、選手以外の部員や保護者などの応援者の観戦ができなかったことなどです。これらをふまえた次年度の大会運営は、剣道競技部だけでなく、他競技も含めて、中体連全体で考えていきたいです。また、本年度の県総体は、愛知県剣道連盟より、多数の審判員に参加していただきました。新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法を用いての大会となりましたが、先生方のご協力により、選手たちは安心して試合を行うことができました。ありがとうございました。

最後に、本年度もコロナ禍という非常に厳しい制限のある中での活動となりましたが、大会運営はもとより、日々の稽古においても、指導者の方々の協

力で行うことができました。生徒の中には、大会だけではなく、段・級審査で、昇段・昇級を目標として稽古に励む者もいます。生徒が活躍できる場があるということに、私自身、感謝を感じ一年となりました。活動ができること自体がありがたいことですが、状況が改善されたときには、生徒の強化においても力を入れていきたいと思えます。まだまだ新型コロナウイルス感染症との付き合いは続くことが予測されます。これからも中体連をはじめ剣道連盟の先生方と連携を計り、ご理解とご協力をいただきながら、中体連の活動を進めていきたいと考えています。今後とも、よろしく申し上げます。

## 高体連だより



愛知県高等学校体育連盟  
剣道専門部 委員長  
田中 勝明

今年度も昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症に世界中が振り回されてしまいました。剣道界も例外なく苦しい一年でありました。しかしながら、

少しずつではありますが明るい兆しが見えてきた感じが致します。昨年度、史上初の、中止を受け、日本中の高校剣士が悲しみに打ちひしがれた中、今年度、2年ぶりに開催された高校剣士の夢舞台、石川インターハイは、無観客・リモート開会式となり、例年とは大きく違う形ではありましたが、選手たちのただただ前を向き、頂点を目指し、竹刀を振り続ける姿は、見ている者の心を勇気付けてくれました。愛知県勢としては、女子団体戦に出場した星城高校が、予選リーグにおいて、強豪校の高千穂高校と秋田北高校のリーグを見事に突破し決勝トーナメント（ベスト16）に進出する大活躍を見せてくれました。今後も高体連剣道部として強化を重ね、実力向上に精進してまいります。

### 令和3年度

#### 愛知県高等学校新人体育大会

剣道競技 戦評

愛知県高体連

総務部長 長屋雄延

男子団体決勝は、(赤)星城高校対(白)岡崎城西高校の対戦となった。先鋒戦、上段にとる星城の辻が立ち上がりに諸手小手を決める。対

する柴田は取り返そうと果敢に攻め返すが、辻は冷静に試合を運び1本勝ちとする。次鋒戦、先鋒戦を取られ追いかける展開となった岡崎城西の中村は、星城の上山の技が尽きた所に引き面を決める。1本先取した中村は、攻撃の姿勢を崩すことなく攻め続け、さらに面を決めて2本勝ちとする。中堅戦、星城の関屋が先を掛け、果敢に攻めるも竹村が手堅く守り切り引き分け。副将戦ここで何とか1本が欲しい星城、本日も調の林がその期待に応える、合い小面と面を決めて2本勝ち。大将戦は副将戦でリードをもらい勢いに乗った星城、個人戦で優勝している中村が、貫禄の面で1本勝ちを収め3対1で星城が優勝を決めた。

女子団体決勝戦は、(赤)岡崎城西高校対(白)星城高校の対戦となった。岡崎城西の志賀、星城の加藤は共に積極的に技を繰り出す、有効打が無く引き分け。続く次鋒戦、岡崎城西の柵木、星城の稲垣は攻めからの技、体当たりの瞬間の技などを出し合うが引き分けに終わる。プレッシャーが重くのしかかり膠着した状況の中、中堅戦はお互いに慎重になり、有効打無しで終わる。一転、副将戦は激しい打ち合いとなる。岡

崎城西の鈴木が、引き逆胴で下がったところを星城の柴田がすかさず追い込み、思い切りよく面に跳ぶと見事に1本となる。星城のリードで大將戦にまわるかと思われた試合終了間際、鈴木が面を取り返し引き分けとする。4引き分け後の大將戦、お互い慎重な試合運びで代表決定戦となる。決定戦は両校ともに大將が代表となり、岡崎城西は西岡、星城は村田の戦いとなった。開始早々、西岡が面に出た所を村田が出ばな面を決め、星城高校が2年連続優勝を飾った。



男子団体優勝 星城高等学校

準優勝 岡崎城西高等学校

第三位 名古屋高等学校

第四位 杜若高等学校

男子団体決勝戦						
学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大將	
赤 星城	辻	击	園	林	中村	
白 岡崎城西	コ	メ	メ	メ	メ	
白 岡崎城西	番	中村	村	青山	村松	
女子団体決勝戦						
学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大將	代表戦
赤 岡崎城西	香	榎	重	鈴木	岡	岡
白 星城	メ	メ	メ	メ	メ	メ
白 星城	榎	重	藤	番	村	村

女子団体優勝 星城高等学校

準優勝 岡崎城西高等学校

第三位 愛知産業大学三河高等学校

第四位 愛知黎明高等学校

男子団体・女子団体それぞれ第三位までが愛知県春日井市で開催される第31回全国高等学校剣道選抜大会に出場致します。

## 愛知県学校剣道連盟だより



愛知県学校剣道連盟 事務局長 山崎 嘉一

### 一 はじめに

愛知県学校剣道連盟(以下「本連盟」)は、愛知県学校職員および学校剣道に携わるものたちが、学校剣道の普及発展のため関係諸団体との連絡を密にし、指導者としての資質の向上と会員相互の親睦を

図ることを目的とし、昭和四十一年に組織されました。

### 二 組織

本連盟は、当初から愛知県剣道連盟の傘下組織として設立されたため、本連盟の会長は愛知県剣道連盟の会長に兼任していただいております。以下、副会長二名(高体連、中小体連の剣道専門部部会長)、顧問六名、参与六名、理事長、副理事長三名、常任理事十名、理事二十七名、事務局八名、会員数約三百名の先生方で構成されています。

### 三 活動内容

本連盟は先述しました通り、剣道の研究と修練によって、指導者としての資質の向上と会員相互の親睦を図ることを目的として、愛知県剣道連盟の地区割にならい五地区(尾張・名古屋・尾南・西三河・東三河)に分け活動しております。

四月 新年度の事業計画を会員全員に郵送。

五月 愛知県教職員地区対抗剣道大会を五地区の持ち回りで開催。七段以下の部と三段以下の部の二部門に分かれて優勝を争います。三十年度は合計九十名の参加がありました。その

後の総会では、前年度と新年度の活動報告、会計報告を行っています。午後からは全国教職員剣道大会愛知県予選会を開催し、派遣選手を選考します。男子の部（四十四歳以下）

副将の部（四十五歳～五十四歳）大将の部（五十五歳以上）女子の部に分かれ、選手を選考しております。近年の男子の部では六十名のトーナメント戦を行った年もあり、参加者が増えたことは喜ばしい限りです。大会終了後、主管地区の先生方の慰労を兼ねて懇親会を行い、親睦を深めています。

七月

選考された選手を中心に、強化練習会を行っています。また、県剣連主催の五団体（警察・官公庁・実業団・教職員・学生）対抗剣道大会に教職員大会の選手を中心に選抜して参加しています。平成三十年度は、警察について二位でした。

八月

全国教職員剣道大会に参加。下旬には指導者講習会を実施。テーマを「審判法」「指導法」「形稽古」とし、一年ごとにテーマと講師を代えて行っています。講習会の後は、講師

の先生とともに約一時間稽古を行っています。

十月

秋季稽古会を東三河地区（蒲郡市）で開催。稽古会には会長先生をはじめ、退職されたOBの先輩方、教員以外の地域の剣道愛好家の方々にお集まりいただき賑やかな稽古会となっております。稽古会終了後は、地元の温泉で汗を流し、

前年度末で退職された先生方の慰労会を行っています。毎年、剣道談義に花が咲く会になっていきます。今年は三十名以上の会になり、大いに盛り上がりました。

平成二十八年には全国剣道指導者講習会（東海ブロック）の開催県となり多くの先生方にご協力を頂き、成功裏に終えることができました。

十二月

冬季稽古会を三地区で持ち回り開催。稽古会終了後は忘年会で一年を締めくくります。

二月

理事会を名古屋地区で開催。今年度の会計報告・活動報告とともに、次年度に向けての課題などを話し合います。その後、稽古会、懇親会を実施。理事以外の先生方も多数お集

まりいただいています。

三月

東海四県中学校錬成大会を後援しています。小中体連の先生方を中心に運営をしていただいています。数年前に冠スポンサーが付き、大会もますます盛会になっていきます。

#### 四 全国教職員剣道大会

これまで、優秀選手に延べ十九人。個人戦入賞延べ十六人、うち優勝一人（第三十九回大会）小学校の部 山下浩城先生。団体戦三位入賞二回（第十回、五十六回大会）。上位進出を目指して頑張っています。

令和7年度に全国教職員剣道大会が愛知県で開催されることが決まっています。より一層のご支援とご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

#### 五 おわりに

現在の学校教育を取り巻く諸問題は多岐にわたり、早急に対応を求められることも少なくありま

せん。私たちは先輩方が五十数年の間をかけ築いてきた歴史に学び、会員相互に力を合わせて乗り越えていきたいと思っています。剣道を学び志す教員だからこそできることが、これからの学校教育の力になると信じ、率先垂範の志をもって動ける組織としてこれからも活動していくつもりです。



平成30年度 秋季稽古会

## 地区だより

## 【尾張剣道連盟】



尾張剣道連盟事務局長  
安田 徹夫

令和四年一月四日(火)パークアリーナ小牧にて午前中を二部に分け、前半を剣道、後半を居合道として、尾張稽古始めが開催されました。

当初予定していた会場が、急遽ワクチン接種会場となったため、小牧市剣道連盟のご厚意により、日程と会場を変更して開催することができました。

例年は休日に開催していましたが、平日にどれくらい集まるのか心配しておりましたが、延べで百三十名ほどの会員が参加してください、熱気あふれる充実した稽古始めを行うことができました。

また、当日は小牧市剣道連盟の稽古始めでもあり、大人たちの横で小中学生の剣士たち約五十名が熱心に稽古に励んでいました。

小学校低学年から八十を過ぎた方



で、幅広い年齢の男女が一堂に会し、一つの道に打ち込む姿は、感動を覚える光景です。

新型コロナウイルス感染症の収束はなかなか見通せない状況ですが、可能な限りの対策を講じ、今後も精進していききたいものです。

## 【名古屋市剣道連盟】



名古屋市剣道連盟  
事務局長  
久保 多加史

令和4年度がスタートし、本連盟ではあわただしく五地区のトップを切り、4月8日と15日に剣道初段〜三段の形、実技審査が行われました。今回の審査人数は、私が事務局長になってから春の審査としては、過去2番目の低さ240名の受審となりました。

新型コロナウイルス感染症が騒がれる前の春の審査は平成29年468名、30年444名、令和元年387名でした。

令和2年は感染拡大による、まん延防止等による禁止処置発令のため秋に

実施し、受審者は482名でありました。令和3年は142名(春、過去最低)、令和4年度こそは幸先良いスタートをと考えていましたが期待通りはいかない状況での新年度スタートとなりました。

新型コロナウイルスの感染が収まらない中、受審者の増加を望むのはなかなか困難な昨今です。

令和2年、3年と2年間コロナウイルスに翻弄され剣道段・級審査会、各大会の中止、延期により、小、中学生の剣道離れに歯止めがかからない状況となっております。

また、中学で剣道をやっている高校に進学すると剣道をやらない子供が多くなり、学校によっては部員が数名しかない所もあるようです。

そんな中、令和4年6月12日に当連盟最大規模の大会「第19回名古屋市剣道選手権大会」の参加者を募集すると小学生 193名 中学生 396名の参加申し込みを受け付け、嬉しい限りで早速準備に追われる毎日であります。

なお、高校の部については、密を避けるため、また時間的制約のため中止せざるを得ない事態となりました。この場を借りてお詫び申し上げます。

私たちが、剣道をこよなく親しむ同好の活動をコロナウイルスに抑えられ日常生活にも支障を来す生活となり、波



西三河剣道連盟  
事務局長  
手嶋 道雄

### 【西三河剣道連盟】

当連盟では、令和2年度審査より審査当日受付から事前受付に代わり審査前の準備は以前にも増して大変な量になりました。受審者申込み名簿、審査台帳、受付名簿等を審査前までに作成し、受審者にハガキにて受審番号、審査当日の集合時間と持ち物を周知、当日、検温結果を記入し、提出、受審番号シールと交換、審査会場入場、そして審査、となる流れに代わりました。そんな中、本年度より白石裕章氏が事務局に本格入局し体制も整い、活躍しています。

令和4年度はコロナウイルスの収束により、十分な稽古ができる日常に戻れることを期待し、事務局として十分な準備をし、各審査会、大会及び講習会開催に臨む所存です。

当連盟も審査会と主要大会は最大限の努力によって全てではありませんが実施して参りました。特に、審査・講習委員会と、大会委員会では幾度も幾

穏やかとなり抑制できるかと思う間際に再び襲い掛かるこの状態が繰り返され、その度にコロナ対策は生活様式を変えてしまうほどの変幻自在の様相を示し立ち向かってくる厄介者です。しかし、私たちもコロナに徹底的予防に知恵を絞り予防対策活動を実施することにより大きな被害を回避してきています。



今年度この大会では、西三河剣道連盟の役員をお勤めいただき、定めた年数以上の貢献をいただきました6名の先生方を功労章表彰させていただきました。また、令和3年内に西三河剣道

度も開催に向けて対策会議を開き準備を進め事業の安全性を高める改善を重ねるたびに安全確保を効率的に行えるようになり安全対策要員の人員削減が可能となっております。

その中でコロナ感染がやや沈静化している時期と少年大会の日程と合致し開催することが出来ました。



連盟表彰規程に定めた大会に出場し優秀な成績を収められた団体及び個人を表彰し、栄光を讃えました。

西三河少年剣道大会は、当連盟の最大規模の大会です今年度は、ややチーム数も少なく感じましたが、小学生の部56チーム、中学生男子の部46チーム、中学生女子の部40チームの参加を得ました。

無観客で行いましたので選手にとっては寂しさもあったと思いますが、今回は試合場に立ち入る人数を監督のほかに、VTR記録担当（コーチ等）



1名許可し個人情報管理に触れない事を条件とし画像持ち帰りを可能としました。  
 参加選手は久しぶりの対外試合でそのうえ窮屈な制限の中、十分なコンディションでないだろうと見守っていましたが、県大会への出場をかけて争う姿は伸び伸びと思いついて試合に燃えている姿が印象的でした。  
 この大会に関わったすべての人がこのような窮屈な大会はもう経験したくないと思うのが実感でしょう。

しかし大会も、審査会も窮地に追い込まれた時チームワークで、すべきことに向かつて思考するところには大きな力が生まれ難事を可能とする発想が湧き今回のコロナ対策にしっかりと対応でき安全・安心を築き上げた事業を推進できたと思います。  
 コロナが一日も早く終息となることを願います。

**【東三河剣道連盟】**



東三河剣道連盟事務局長  
 牧野 孝夫

**形講師要員・級審査員  
 候補者研修会**

コロナ禍が続く状況の中、二つの主催大会・稽古会等が中止になりましたが、新規事業として令和三年四月十日豊川市武道館において感染防止対策をし、形講師要員・級審査員候補者研修会を四十五名が参加して開催することができました。この研修会は年3回実施する初段〜三段剣道形講習会の講師と、年5回実施する級審査会の審査員



を選任する重要な研修会になります。形講習会では講師自ら範を示す必要があり、また級審査員においても木刀に

よる剣道基本技稽古法や審査基準の要点を理解していただくことが研修の意義があるところになります。畠山隆吉先生を講師に招き、指導していただきました。始めに木刀による剣道基本技稽古法を行いました。稽古をしていない方が多くみられ、再確認しながら《基本1》から《基本9》まで確実に習得できるように1時間ほど研修を行いました。その後、剣道形を細かい動作に至るまできめ細かく行いました。審査会において受審者が正しい形ができるようにすることが形講師の責務と感じております。この研修会を継続して実施していきたいと考えております。

**剣道受審者講習・稽古会**

令和三年十一月六日(土) 豊橋市武道館において畠山隆吉先生・白井孝一先生・稲吉悟先生を講師にお迎えして、剣道受審者講習・稽古会を開催しました。秋の審査会受審者を対象(受審しない方も参加可)に四十五名の参加者がありました。白井孝一先生の挨拶の後、各段位別に相手を組み、剣道形を畠山先生によって指導が行われました。次にそれぞれ受審する段に三会場に分かれ審査と同じ様式で立会の稽古を行い、その後立会を行った方に対

し講師の先生から寸評を伺い、最後に講師の先生方、七段の先生方が元立ち稽古を行い終了となりました。秋の審査会では今回の参加者から四段に四人、五段に三人、六段に二人、七段に三人が見事に合格されました。皆様には心からお祝い申し上げます。今後一人でも多くの方が昇段できるように本連盟としても尽力を注いで行きたいと思えます。

### 剣道級審査会の立会改善

剣道級審査会を年五回開催しております。

係員等は各地区に依頼し実施しておりますが四・三級の受審者は初心者ほとんどで審査進行が立会者によってスムーズに進行ができない場合があります。これを改善するため三月の審査会当日に模範立会者の動画を録画し次の審査会で担当する立会者に視聴して参考にさせていただき審査会を迅速かつスムーズに実施できるようにしていきたいと思えます。

### 新規稽古会として

私が事務局をやらせていただいていた3年になりますが他地区と比べて当連



盟主催稽古会が少ないと思いき事業委員会に提案して定例稽古会を実施することになりました。第一水曜日午後七時三〇分より豊橋市総合体育館第二アリーナと第三金曜日午後七時三〇分より豊川市武道館で行います。多くの剣友をお誘い、稽古会参加をお願いします。特に若い人の参加を希望し、技術の向上、会員相互の親睦を深めたいと考えております。

### ホームページを開設

当連盟ホームページを開設しました。これにより皆様に迅速かつ正確な情報を発信し、それを共有できるようになりました。年間予定・大会要項・審査会要項及び愛知県剣道連盟からの伝達事項等が会員が周知しやすくなりました。今後ご活用くださいますようよろしくお願いいたします。



### 【尾南地区剣道連盟】

#### 中高年剣友会の紹介



尾南地区剣道連盟  
事務局長  
山田 政晴

尾南地区剣道連盟では月一回の定例稽古会、年一回の一泊稽古会、大会後の随時の稽古会等を開催していますが（新型コロナウイルス感染症の拡大による中止の稽古会も多





い)、高齢者が一堂に会した稽古会を連盟発足以来行っていない。高齢者がお互いの稽古をしたいという声が高まり、そこで、平成28年4月21日に男性60歳以上、女性50歳以上を会員とする中・老年剣友会が誕生しました。会としては6年程と日が浅いです。

当初は、稽古会会場、日時等を知多市旭公園体育館で毎月第三水曜日の午前10時～午前11時30分として始めました。



剣道教士七段大木金次先生に初代会長をお願いし、会員数28名で発足しましたが、現在は、若干少なくなり25名の会員が楽しく稽古をしています。63歳から83歳の男性会員がいますが、女性会員は、1名と少し寂しい現状でもあります。静岡県浜松市から参加している特別会員もいます。

平成29年度からは、稽古会会場を東海市民体育館剣道場に、稽古時間を午前9時～午前11時30分に変更しました(稽古日は変更せず)。稽古会は、二部制とし、一部では、午前9時～午前10時まで剣道教士七段大崎保先生指導の下、日本剣道形を行っています。大崎先生は、懇切丁寧にかつ気迫のこもった指導をされるので、会員にとっては各自の普段の稽古内容を見直すとても良い機会でもあります。参加した会員は、時間が経つのも忘れ熱中して行っ

ています。

その後、午前10時から二部の稽古会が始まります。原田先生の号令により各自の体力に応じて準備体操や素振り等をしてから、全員が段位に関係なく年齢順に下座に座り、始めの「礼」をします。

大木先生から毎回、「年齢や自分の体に合った無理をしない稽古をしてください」等の始めの挨拶の後、1時間弱程度の稽古をしています。会員は精力的に稽古を行っています。特に、尾南地区剣道連盟会長の安部先生は、終始休むことなく稽古をされ、その体力や気力には会員一同いつも感心させられています。また、同顧問の北村先生は、毎回稽古会に参加され、剣道に対する情熱や技は衰えを見せません。終わりの「礼」をした後、全員が円陣になり、稽古後の体調を確認したり、諸連絡をしたりして稽古会が終了となります。稽古をした全員が心地よい気持ちで剣道場を後にすることができま



す。

全国健康福祉祭(ねんりんピック)の愛知県予選会にチャレンジして全国大会に出場し活躍している会員、県の稽古会だけでなく他地区の高齢者の稽古会にも積極的に参加しています。

大木先生から毎回、「年齢や自分の体に合った無理をしない稽古をしてください」等の始めの挨拶の後、1時間弱程度の稽古をしています。会員は精力的に稽古を行っています。特に、尾南地区剣道連盟会長の安部先生は、終始休むことなく稽古をされ、その体力や気力には会員一同いつも感心させられています。また、同顧問の北村先生は、毎回稽古会に参加され、剣道に対する情熱や技は衰えを見せません。終わりの「礼」をした後、全員が円陣になり、稽古後の体調を確認したり、諸連絡をしたりして稽古会が終了となります。稽古をした全員が心地よい気持ちで剣道場を後にすることができま

す。

最後にりましたが、この稽古会は、「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」を念頭に、全会員が健康に留意し、基礎体力を維持し、永く剣道が続けられる「生涯剣道」を目的として行っています。

# 役

# 員

(令和三年・四年度現在)

副会長

相談役

参与

山市牧瀧東松水細伊木林近内後北菅和松勝山白渡安松山大  
 口川野 下谷川藤本 藤田藤村沼田本股本井並部本本嶽  
 昌武武順日出明好 一三邦勁武英 幸伊 寿重孝 秀健一允將  
 宏利賢一男房助昌彦夫夫助夫壽豊夫功武彦夫一直利郎園文

理事長

祝大河内原川置山味園 由美子 萬須美 利幸郎 芳高 良五 源志 輝夫 隆厚 学正 仁人 二一 香勉  
 平中 堀山 穂園 東吉 稲賀 古本 松澤 三岡 松中 田中 田中 日比野 塩野谷 都地 安保 木下 杉浦 熊澤 高山 渡邊 光永

監事

理事

常任理事

熊新今神成下前水田山中牧正今長手山中野原山東加小内平島大丹尾東  
 本美道谷瀬山田野中口村野田泉澤嶋口村末田崎 藤山田井山田隆義正博一  
 千邦恵光朋博新 勝照隆孝哲 賢道和憲敏 良 宗信道隆義正博一  
 尋廣子顕恵之吾隆明義信夫之弘治雄義治郎努尚美隆章之典吉弘則之良

評議員



志津 山田 大仲 和田 和吉 田中 稲吉 白井 藤坂 堀山 榎本 渡並 深谷 山田 水田 戸田 加藤 久保 水野 松本 山本 小白 白石 二橋  
 匡英 良布 輝孝 彰健 鐘正 政治 秀多 友利 允克 裕隆  
 人貴 仁子 志悟 一 一 治司 直司 晴涉 夫夫 加史 記幸 園巳 章隆



恒川 敏明(61) 川田 秀幸(63)

橋本 孝則(65) 芦田 英光(66)

松崎 光夫(71) 加藤美代子(72)

夏目 弘善(79) 種村 喬行(80)

・ 剣道六段(令和三年十一月十四日)

(枇杷島)

笠原 鞠奈(30) 吉武 剛(30)

浅野 喜子(35) 岡田 佑介(37)

小松崎 聖(37) 伊藤 智紀(37)

富本 裕一(39) 水町 正広(41)

菅 智士(41) 塩谷 大輔(42)

池之野咲恵(42) 井戸 邦芳(43)

生駒 千貴(46) 天木 資樹(46)

内田 敦子(46) 牧野 亮太(46)

北山 健三(46) 石川 雅憲(47)

今泉 勝也(48) 山本 律子(48)

宮寄 信行(49) 芝 浩之(49)

川辺 英明(52) 羽田 康則(53)

井寺 理恵(54) 祖父江由美子(54)

林 秀俊(54) 金時 朋広(54)

川上 康博(55) 堀井 明(55)

宍戸 達夫(57) 筒井 泰貴(58)

藤本 牧生(72) 西川 清治(72)

宮田 幸久(74) 保浦カツ子(76)

杉山 有良(79)

・ 剣道六段(令和三年十一月二十日)

(東京)

剣道教士(令和三年十一月二十三日)

(東京)

志水祐一郎(37) 加藤 大祐(38)

津田剣太郎(40) 鈴木 佳規(41)

富松 宣之(42) 杉浦 弘恭(43)

村岡 淳(44) 天野 智(46)

白井 伸成(47) 齋藤久里子(47)

壁谷 雅敏(48) 富田 繁良(49)

原田 広昭(49) 古田 久晴(50)

湊原 隆(50) 宮田 修二(51)

小島 克枝(52) 野田 憲司(52)

中村 進一(52) 高井田健蔵(52)

鈴木 篤(54) 和田 英之(54)

塩屋 美隆(54) 水野 京介(55)

福井 圭介(55) 大谷 吉生(57)

中野 匡(57) 中村 信貴(57)

寺澤 明芳(59) 川合 規夫(59)

岩月 稔(60) 鐘ヶ江隆志(63)

平野 晴義(64) 吉田 正人(64)

加藤 博望(70) 鴨下 順二(71)

・ 剣道錬士(令和三年十一月二十三日)

(東京)

渡辺 聖(31) 山守 祐哉(31)

迫 美樹(33) 笹内 一志(36)

宮崎 翔(36) 藤田 洋平(39)

佐藤 志帆(39) 三枝 功司(39)

鈴木 俊輔(40) 中村 将彦(40)

天野賢太郎(43) 今道 恵子(43)

馬場 文隆(44)

福田 真也(45)

日永田弥生(46)

安藤 彰人(48)

水流 勇人(50)

中根 徳子(53)

山梨 浩樹(54)

岩田 秀樹(58)

市田 恭教(64)

大川光都子(67)

西山 幸子(54)

加藤 宜志(70)

・ 居合道錬士(令和三年十一月二十三日)

(東京)

唐木 研至(45)

松永 直樹(46)

宮崎 佳子(47)

秋田まさみ(49)

瀧貞 寧儀(52)

山本 政広(53)

山梨 浩樹(54)

甲斐 道夫(63)

山本 典幸(66)

森島 秀雄(70)

林 美恵子(67)

・ 居合道五段(令和四年一月二十二日)

(中)

橋本 亨美(43)

田中 智和(45)

馬場 恭子(45)

南 芳樹(46)

仲原 隆博(47)

岩下 順司(49)

渡邊 常正(50)

千種 健策(51)

志水 正子(60)

平松 佳樹(66)

齋藤 雅子(71)

森 香代子(71)

原 崇志(44)

井桁 英登(45)

大石 祐貴(46)

栗田 英至(47)

大河内 崇(48)

都築 治子(50)

丸井 昭人(51)

岩田 昭仁(51)

水野 久美(64)

古川 澄男(67)

木村ちよ子(71)

佐々木樹子(77)

・ 剣道五段(令和三年十一月二十三日)

(刈谷)

橋本 亨美(43)

田中 智和(45)

馬場 恭子(45)

南 芳樹(46)

仲原 隆博(47)

岩下 順司(49)

渡邊 常正(50)

千種 健策(51)

志水 正子(60)

平松 佳樹(66)

齋藤 雅子(71)

森 香代子(71)

谷口 浩子(52)

彦坂 祐而(77)

・ 剣道七段(令和四年二月十九日)

(山梨)

成瀬 文浩(53)

深見 知弘(58)

・ 剣道六段(令和四年二月二十日)

(山梨)

横井 泰介(45)

井上 浩爾(45)

・ 杖道五段(令和四年二月二十日)

(昭和)

谷田 耕一(40)

柳井 清治(65)

杉浦 敏子(73)

永田恵美子(75)

三浦 領大(31)

## 女性剣道七段誕生

### 七段合格者の紹介

#### 剣道からの学びが、人生を豊かに



木谷 佳恵  
(尾南)

令和三年五月、名古屋開催の七段審査会において昇段させていただきました。大切な時間を割いて稽古していただいた先生方や剣友、多方面で支えてくれた家族、皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

皆さんが思う「剣道の魅力」とは何ですか。私は8歳から剣道を始め、各ライフステージにおいて人生に大切な多くのことを学んできました。今回の受審では、目標をもつことの大切さ、人と関わることの楽しさを改めて学びました。

家族の「やれるだけやればいい」という言葉に勇気もらい受審を決めました。仕事や家事、育児に追われ剣道ができないと思っていた生活が一変。隙間時間に素振りをしたり走ったりと生活の中でできる工夫をしました。それ

らは小さなことでしたが、積み重ねるごとに充実感がありました。

仲間との真剣な稽古、東の間のおしゃべりはとても楽しいものでした。帰宅後は心地の良い体の疲れと心の軽さを感じました。私の仲間は剣道だけでなく仕事や育児の悩みを笑って聞いてくれる素敵な人ばかりです。コロナ禍の今、以前に増して仲間の大切さを感じています。

剣道は人生を豊かにしてくれます。今後も学び続け、七段にふさわしくなれるよう努力していきますので、ご指導よろしく願います。

#### 気を持続させ集中する事



橘 仁美  
(東三河)

令和三年五月、枇杷島スポーツセンターでの剣道七段審査会にて合格を頂くことができました。

このコロナ禍でも万全とは言えない状況での受審でしたが、前向きに日々トレーニングだけは欠かさず続けました。しかし、やはり剣道具を付けての稽古をしなければとても合格など出来ないことは分かっていましたし、

何よりも受審に挑むメンタルを稽古をして作らなければいけないという焦りもありました。応援して下さる先生方も沢山おられる中、県常任理事でもあり母校の県立豊橋商業高等学校剣道部の大先輩でもある畠山隆吉先生にご指導を賜うことができました。畠山先生のご指導の中で私が学んだことは、気を持続させ集中する事こそがこれまで自分が稽古で培ってきたものを体現できる最短の近道だという事でした。審査直前は緊張もせず相手だけに集中出来ていたことを思い出します。

中学時代に3級から受け始めここまでこれた事に感慨深くもなりもう受審をすることも無いと思うと少し寂しさもありますが、合格を頂いたのはまだまだ未熟で学ぶことは多いと肝に銘じおることなく謙虚に精進して参ります。

豊橋商業高校を通じて畠山先生始め沢山の先生方との繋がりを持ってたことに心から感謝すると共に、次男も警察で剣道を続けてくれていたのでいつか息子が私と同じ七段になるのを楽しみにして毎日を頑張っていたらと思っています。

令和2年8月にご逝去され、父のよくな存在でもあり大変お世話になった恩師の牧野登先生にも心から感謝し昇段をご報告させて頂きました。先生方の訓えを守り繋いでいけたらと思います。

#### 稽古ができる環境の ありがたみを知る



今道 恵子  
(名古屋)

令和三年五月、七段に合格致しました。これまでに多くの先生方にご指導を頂き、多くの仲間と汗を流しました。皆様との出会いと家族のお陰で長年剣道が続けることができましたし、七段に昇段することもできました。心から感謝申し上げます。

七段受審に向け、新たに二点の事を行いました。まずは撮影した自分の稽古の確認です。打ちたい気持ちや手元の動きに出ていることがよくわかり、自分で認識することで効果的に修正できましたと思います。

次に走り込みです。コロナ禍で、なかなか満足に稽古ができないため、走り込むことを決め、十数年ぶりに長い距離を走りましたが、全く思うように走れず愕然としました。日頃足を十分に使えていない稽古だけで満足していたのだと反省しました。二度目の挑戦。約十か月間走り込みでの合格でした。この先、七段としての剣道を求めていく上で、強い足腰は不可欠だと考

えます。今後も足腰の強化は継続したいと思います。また、稽古が普通にできる環境がいかに尊いことか肝に銘じながら稽古に臨みたいと思います。  
人生八十年時代から百年時代に移行してきています。できる限り長く生き生き、多く方々と剣道ができるよう努めて参ります。

### 原点に戻り、剣道を



河村 芙美  
(尾南)

令和三年十一月、枇杷島スポーツセンターで行われた七段審査に合格させて頂きました。合格はこれまでご指導頂いた先生方、大切な剣友の方々のお陰だと感謝しております。

私は小学校に上がる頃に剣道を始め、周りの環境にも恵まれ剣道を通じてこれでしたが、七段受審に向けては自分の弱点克服に大変悩みました。まだまだ無理だと稽古、実力不足を自覚しつつ、七段合格まで六段審査から十一年経っていました。自分の剣道と向き合いきれいなかったと大いに反省し、原点に戻り竹刀の握り方、足捌き、素振りから意識し稽古をしました。

そして社会人になると稽古の場が限られる為に週一、二回をいかに集中して行うかに賭けようと学生時代を思い返し「剣道ノート」を一年前に再開しました。先生方や先輩に教わった改善点、攻め、どう感じ何を学べたかを整理し反復練習しました。また、長いコロナ禍の稽古不足を補う為にランニングや筋トレをし、気持ちを整え過ぎました。今回の合格は運良く運んだ結果でまだまだこれからだと思えますので、日々の稽古を大切に、正しい剣道を心掛けたいです。

最後にご指導頂きました先生方、剣友の皆様、稽古に行かせてくれた家族に心から御礼申し上げます。今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。

### 勇気を出して立ち向かう心



西地 治美  
(西三河)

令和三年十一月十三日、枇杷島スポーツセンターにて実施された、7段審査会にて合格する事ができました。

私達女性は、審査の時に男性にどう太刀打ち出来るかが重視されます。幸い、私は豊田自動織機実業団チー

ムに所属しており剣道部には、7段取得の男性部員が、8人も在籍しております。直向きに努力され活躍されている姿を見ていつも尊敬していました。その男性部員との稽古は、体格や打突力、スピード等女性に比べると、はるかに大きな差を感じます。とても歯が立ちませんが、その中でも、その差をいかに小さくするか、また、近づこうと、勇気を出して立ち向かう心をもって、日々稽古に励みました。

当日の審査では、一本が決まり、勇気を出して立ち向かった心の気持ちが届いたと思います。

ご指導して頂いた、先生、剣道部の方々、応援して下さい下さった皆様本当に感謝しております。

これからも、精進を重ね剣道で、恩返しできるよう努力してまいります。

これからも、ご指導ご鞭撻の程よろしくおねがい致します。  
本当にありがとうございます。

### 感謝



池谷 みゆき  
(尾張)

令和三年、春の剣道七段審査で合格させて頂きました。

ひとえに先生方、教室の皆様ののおかげと心より御礼申し上げます。

剣道が大好きで楽しくやっていたらいいと六段合格で満足しておりました。

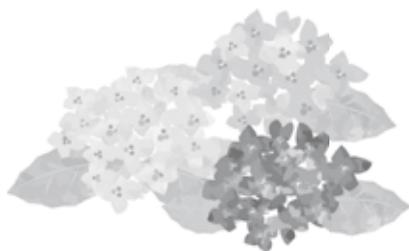
しかし、七段受審を決意したものの肩の故障で2年間を苦しみ、やっと思いで肩が動くようになった頃、次は新型コロナウイルス感染拡大対策のため稽古を制限されました。ですが幸いにも私、一宮女性剣道教室は、練習場所が確保でき又、指導して下さる松下先生および諸先生方には七段合格に對しての練習指導をして頂きました。

○先を掛ける

○打ちたい気持ちを我慢する

○仕掛けを早く打ち切る

皆様の練習時間を、立ち合い稽古に費やして下さい、合格できたのはひとえに皆様に協力してもらえたからです。これからは恩返しができる様精進して参りますので、今後ともよろしくお願いたします。



## 五地区剣道連盟所在地

尾張剣道連盟 理事長 中川治彦 事務局長 安田徹夫  
〒491-0903 一宮市八幡4-1-28 一宮市武道館内 TEL 0586-43-1023 FAX 同じ

名古屋市剣道連盟 理事長 尾野博之 事務局長 久保多加史  
〒454-0022 名古屋市中川区露橋1-31-20 富士美ビル2-G TEL 052-361-8073 FAX 同じ

西三河剣道連盟 理事長 大田義弘 事務局長 手嶋道雄  
〒471-0813 豊田市野見山町3-78-14 手嶋様方 TEL 0565-89-3274 FAX 同じ

東三河剣道連盟 理事長 畠山隆吉 事務局長 牧野孝夫  
〒440-0071 豊橋市北島町字北島132-2 牧野様方 TEL 0532-52-3796 FAX 0532-52-3770

尾南地区剣道連盟 理事長 丹羽正則 事務局長 山田政晴  
〒479-0862 常滑市小倉町5-48 山田様方 TEL 0569-42-3895 FAX 同じ

## 剣道・居合道・杖道

令和元年10月1日改定

段・級	審査料(円)	登録料(円)
8～2級	1,100	2,200
1級	1,100	3,300
初段	2,200	5,500
二段	3,300	7,700
三段	4,400	9,900
四段	5,500	12,100
五段	6,600	18,700
六段	13,200	44,000
七段	15,400	66,000
八段	19,800	99,000
称号		
錬士	19,800	55,000
教士	27,500	77,000
範士		105,000

※審査日前日までに、七〇歳になった方は登録料半額。  
※四級以上の受審に際し、入会金(終身)五、〇〇〇円を納入して  
愛知県剣道連盟に加入しなければならない。

愛知県剣道連盟70周年記念事業の記念品担当の成瀬です。  
令和3年10月14日70周年記念事業の準備委員会が行われました。  
祝理事長のあいさつの後、内容についての審議がありました。そこで記念品としてすべての会員にデザインを募集し、バッチ、手ぬぐいを製作することが決定しました。記念品担当として、和田布美子さん、今道恵子さん、成瀬の三人が担当することになりました。私自身、ホームページには県連のロゴ

## 70周年記念事業準備委員会(記念品担当)



成瀬 朋恵



今道 恵子



和田 布美子

があることは知っていましたが、お恥ずかしながらそのバッチがあることを知りませんでした。

全日本剣道連盟のバッチは皆さん付けていらっしゃるのに愛知県のバッチとして会員の皆さんに付けてほしいと思います。付けていただくために、高額ではなく広く会員に普及させ、公認審判審査会での販売を検討しています。

そのバッチ、手ぬぐいのデザインを、愛知県剣道連盟のホームページ、各地区に周知はしてありましたが、12月16日の記念品担当の会議でデザインの応募数が少なかったため締め切り期日をのばし、今道先生に道場連盟の稽古会でお知らせしていただき、高校の大会でも高体連の田中先生にもお知らせをお願いしました。

そのおかげで締め切り前の3月末には、小中学生、高校生、大人の県内の会員の方々から、バッチ約50個、手ぬぐい約30枚のデザインの応募がありました。どれも素晴らしい力作揃いでした。

作品の説明欄には、愛知県の県花のカキツバタをモチーフにした作品、剣道具をデザイン化した作品、剣道・居合道・杖道の三道をモチーフにした作品、日本の伝統文化を世界へ発信できるような作品と言った制作者の思いが込められた作品ばかりでした。

この募集された作品の中から、委員による投票を数回行い決定致しました。

## 愛知県剣道連盟ホームページ案内

現在、各大会及び審査会の要項は、約二ヶ月前には当連盟ホームページに掲載しております。

また大会申込書以外にも、審査会申込書、加盟(入会)手続書がダウンロード出来るようになりましたので、必要な方は各種要項のページにあります剣道、居合道、杖道のタブよりご確認ください。

大会結果、審査結果等は出来るだけ速い段階で掲載するよう務めておりますが、多少のお時間を要する場合がございますので何卒ご了承ください。

なお、全日本剣道連盟主催の大会結果や、審査会(六、七、八段、称号審査会)の合格者につきましては、全剣連ホームページに掲載後、当連盟ホームページに掲載いたします。

全剣連のホームページは当連盟のリンクページ、関連団体タブよりご確認ください。

また岐阜剣連、三重剣連、静岡剣連ホームページへのリンクもしております。

当連盟ホームページへのアクセスは『愛知県剣道連盟』で検索していただくか、上記アドレスを直接入力して下さい。

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ  
・4月9日更新

【業務時間短縮のお知らせ】  
新型コロナウイルス感染拡大の観点から、当面の間事務所の業務時間を下記の通り短縮いたします。  
業務時間 10:00～16:00  
会員の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご了承の程お願い申し上げます。

リンク

審査結果

大会結果

各種要項

事務局連絡

事業計画

連盟紹介

一般財団法人 愛知県剣道連盟

【事業計画】に新年度事業計画表を掲載いたしました。

<http://www.aichi-kendo.jp/>

## 中日新聞社

成績の持参またはファックス先は以下の通りです。

◇本社（名古屋市中区3の丸1ノ6ノ1）  
FAX 052(201)4331  
問い合わせは 電話 052(221)0793

◇豊橋支局（豊橋市八町通3ノ91）  
FAX 0532(54)4655

◇岡崎支局（岡崎市東明大寺町16ノ18）  
FAX 0564(25)1554

◇豊田支局（豊田市美山町3ノ34ノ34）  
FAX 0565(25)1118

◇一宮支局（一宮市大江1ノ13ノ13）  
FAX 0586(72)5035

◇半田支局（半田市出口町1ノ45ノ18）  
FAX 0569(23)2372

◇春日井支局（春日井市鳥居松町3ノ60）  
FAX 0568(81)2797

## 読売新聞社

FAX 052(211)1085

取材に来てくれることもありますので、  
先ず一報を



## 編集後記

鈴木 健一（享年百四歳）  
令和四年三月十四日ご逝去  
愛知県剣道連盟相談役

## 計 報

### 広報・資料委員

（前列左から）  
榎本鐘司、内田信之、今泉 弘

（後列左から）  
森園昭俊、青山光加、高橋良好、伊藤国博

第46号「観の眼」の作成に關しまして関係各位には多大なるご協力を賜り誠に有難うございます。

本年は、（一財）愛知県剣道連盟設立70周年にあたり、実行委員の先生方、各専門委員会の先生方が中心となり12月予定されております記念行事等の準備を進めておられます。その中で、（一財）愛知県剣道連盟のバッチの新規制作につき会員より募集した中から選ばれたデザインバッチが決定しました。表紙に掲載させていただきます。

第46号の「観の眼」は、表紙に「第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会」愛知県第二位と（一財）愛知県剣道連盟の新バッチを掲載し、内容もコロナ感染症拡大前に戻りつつあります。会員の皆様に一読いただければ幸いです。

尚、新スタッフに中部地区実業団剣道連盟理事長、森園昭俊氏。名古屋スポーツコミッション事務局長、高橋良好氏が就任し、今後幅広い視点からも広報、資料委員会の活動をしてまいりたいと思います。

今後共、ご支援、ご指導の程宜しくお願ひ申し上げます。

広報、資料委員会委員長 内田信之

令和4年度事業計画

一般財団法人 愛知県剣道連盟

4月		5月		6月		7月	
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場所	時間	全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場所	時間	全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場所
1全 ●第57回全国中央講習会(2、3日) △剣道六・七段受審者講習会 ▲東海地区剣道合同稽古会 △尾張剣道形講習・審査会(初～三段) △名古屋剣道形講習会(初～三段)	神戸市 柳井島 十和田ホール・ツェルター 霧橋	9:30 15:00 9:00	1日 ●剣道八段審査会 △東三河剣道形講習・審査会(初～三段) ※第76回全国高校総体剣道予選会(個人) 西三河市剣道場	1水 2木 3金 4土	15:00 19:00	1全 2土 3日 ●聯合道中央・地区講習会(2、3日) ○第56回全日本女子学生剣道選手権大会 ▲東海地区剣道合同稽古会 △尾張剣道形講習・審査会(初～三段) ※第40回愛知県選手権対抗剣道大会	山崎原 東京都千代田区 中村 上野市スポーツセンター 愛知県武徳館
2土 ▲東海地区剣道合同稽古会 △尾張剣道形講習・審査会(初～三段) △名古屋剣道形講習会(初～三段)	京都市 京都市 京都市 枇杷島	9:00 19:00	2月 ●第118回全日本剣道選手権大会(2～5日) ▲剣道八段審査会 ▲剣道合同稽古会	5日 ▲第64回全国教職員剣道大会県予選会 ※愛知県教職員地区対抗剣道大会	9:00	3日 ○第70回全日本学生剣道選手権大会 ▲愛知県剣道公認審判講習会	東京都千代田区 ハロワ曙橋アリーナ
3日 ▲剣道四・五段受審者講習会	天白	9:30	3火 ●聯合道入段審査会 ●秋道入段審査会 ●聯合道・林道入段審査会 ※第76回全国高校総体剣道予選会(団体)	6月 ▲剣道合同稽古会	19:00	4月 ▲剣道合同稽古会	霧橋
4月 ▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00	4木 △尾南剣道形講習・審査会(初～三段) △尾南剣道実技審査会(初～三段)	7火 8水 9木	19:00	5火 6水 7木 8金 9土	霧橋
5火 ▲剣道合同稽古会	日本ガイイノ第3 瀬戸市体育館	9:30 9:00	5木 ●剣道七段審査会 ※第76回全国高校総体剣道予選会(個人) ※第76回全国高校総体剣道予選会(団体) ※第76回全国高校総体剣道予選会(団体) ※第76回全国高校総体剣道予選会(団体)	10金 11土 12火 13水 14木 15金 16土	9:00 9:00 10:00	10日 ●第14回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 日本武徳館	日本武徳館
6水 ▲剣道合同稽古会	霧橋	9:00	6金 ▲剣道七段審査会 ※第76回全国高校総体剣道予選会(個人) ※第76回全国高校総体剣道予選会(団体) ※第76回全国高校総体剣道予選会(団体) ※第76回全国高校総体剣道予選会(団体)	11月 12火 13水 14木 15金 16土	9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00	11月 ▲女子剣道指導講習会 ▲第70回全日本剣道選手権大会県予選会	愛知県武徳館 中
7木 ▲剣道合同稽古会	霧橋	9:00	7土 ▲剣道指導講習会(伝達) ▲第34回全国健康福祉剣道大会県予選会 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	17日 18月 19火 20水 21木 22金 23土	9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00	17日 ▲第70回全日本剣道選手権大会県予選会	霧橋
8金 ▲剣道合同稽古会	霧橋	9:00	8日 ▲剣道指導講習会 ▲第34回全国健康福祉剣道大会県予選会 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	19火 20水 21木 22金 23土	9:00 9:00 9:00 9:00 9:00	18月 ▲第16回愛知県女子剣道選別選手権大会 ▲尾張剣道形講習・審査会(初～三段)	霧橋 一宮市総合体育館
9土 ▲剣道合同稽古会	霧橋	9:00	9月 10火 11水 12木 13金 14土 15日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	19火 20水 21木 22金 23土	9:00 9:00 9:00 9:00 9:00	19火 20水 21木 22金 23土	霧橋
10日 ▲第77回団体(成年)選手権大会 ▲聯合道高段位受審者講習会 △西三河剣道形講習会(初～三段)	中村	9:00 10:00	10日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	20月 21火 22水 23木 24金 25土 26日 27月 28火 29水 30木 31火	9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00	20月 ▲聯合道中央・地区講習会(23、24日) ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
11月 ▲第77回団体(成年)選手権大会 ▲聯合道高段位受審者講習会 △西三河剣道形講習会(初～三段)	霧橋	9:00	11日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	24日 25土 26日 27月 28火 29水 30木 31火	9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00	24日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
12月 ▲第77回団体(成年)選手権大会 ▲聯合道高段位受審者講習会 △西三河剣道形講習会(初～三段)	霧橋	9:00	12日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	25土 26日 27月 28火 29水 30木 31火	9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00	25土 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
13水 ▲第77回団体(成年)選手権大会 ▲聯合道高段位受審者講習会 △西三河剣道形講習会(初～三段)	霧橋	9:00	13日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	29日 30月 31火	9:00 9:00 9:00	29日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
14木 ▲第77回団体(成年)選手権大会 ▲聯合道高段位受審者講習会 △西三河剣道形講習会(初～三段)	霧橋	9:00	14日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
15金 ▲第77回団体(成年)選手権大会 ▲聯合道高段位受審者講習会 △西三河剣道形講習会(初～三段)	霧橋	9:00	15日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
16土 ▲第77回団体(成年)選手権大会 ▲聯合道高段位受審者講習会 △西三河剣道形講習会(初～三段)	霧橋	9:00	16日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
17日 ●第20回全日本選抜剣道八段優勝大会 △尾張剣道実技審査会(初～三段)	中村	9:30 9:00	17日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
18月 ▲剣道合同稽古会	霧橋	19:00	18日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
19火 ▲愛知県女子剣道稽古会	霧橋	9:00	19日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
20水 ▲愛知県女子剣道稽古会	霧橋	9:00	20日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
21木 ▲愛知県女子剣道稽古会	霧橋	9:00	21日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
22金 ▲愛知県女子剣道稽古会	霧橋	9:00	22日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
23土 ▲愛知県女子剣道稽古会	霧橋	9:00	23日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
24日 ▲剣道四・五段審査会	中	9:00	24日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
25月 ▲剣道四・五段審査会	霧橋	9:00	25日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
26火 ▲剣道四・五段審査会	霧橋	9:00	26日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
27水 ▲剣道四・五段審査会	霧橋	9:00	27日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
28木 ▲剣道四・五段審査会	霧橋	9:00	28日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
29金 ▲剣道四・五段審査会	霧橋	9:00	29日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
30土 ▲剣道四・五段審査会	霧橋	9:00	30日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館
31火 ▲剣道四・五段審査会	霧橋	9:00	31日 ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段) ▲東三河剣道実技審査会(初～三段)	31火	9:00	31日 ▲聯合道中央・地区講習会 ○全日本少年少女剣道(剣道)錦旗大会(23、24日) 日本武徳館	阿山市 阿山市 日本武徳館

備考 ●全剣連 ○全剣連 △県連 △県連四 △県連四  
 名古屋…毎月第2月曜日・第4月曜日(19:00) 霧橋 尾南…毎月第1火曜日(19:00) 東海市体育館  
 西三河…毎月第4土曜日(14:00) 豊橋市武徳館 ※5、8、12、1月を除く





# 【資料室所蔵史料紹介】

- 昭和二十四年十二月三日開催「中部日本体道連盟結成記念フェンシング柔道合同大試合」プログラム紙
- 昭和二十五年四月二十三日開催「一宮剣道倶楽部創立記念近県剣道大会」プログラム紙

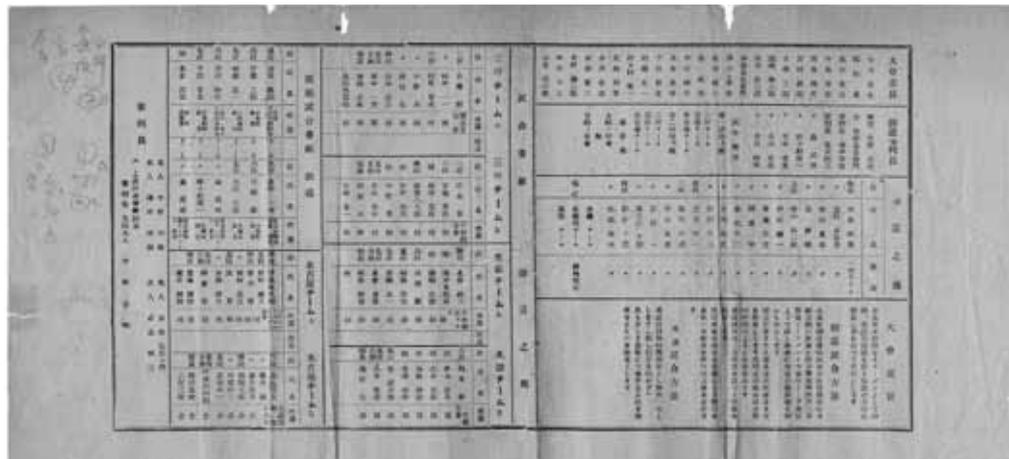
前号（第45号）に史料紹介したのは、「第二回ジャパニーズフェンシング都市近郷寒中対抗試合」（昭和二十五年一月三日開催）のプログラム紙であった。この第二回ジャパニーズフェンシング大会開催の一月前、すなわち昭和二十四年十二月三日、一宮市で「中部日本体道連盟結成記念フェンシング柔道合同大試合」と称した大会が開催され、また、それから五か月ほどして、「一宮剣道倶楽部創立記念近県剣道大会」も開催されていた。今回は、この一宮市における大会プログラム紙を紹介したい。前者プログラム紙はオリジナル史料が、後者については複写史料が、資料室に所蔵される。

まず、この二つの大会の概要について、当時に名鉄電車クラブに所属して活躍した（故）浅井才治氏が残した「覚書」（『西尾市剣道連盟五十周年記念誌』所収）から一部を引用して見ておこう。そしてこれらのプログラム紙から読み取れる当時の剣道の状況に触れてみよう。

## ● 中部日本体道連盟結成記念フェンシング柔道合同大試合

「昭和二十四年十二月三日、一宮市で、ジャパニーズフェンシングと柔道をまとめた団体として中部日本体道連盟という会ができたことを記念する合同の試合が、この会の主催で、ジャパニーズフェンシングの部は同市の花岡町にあった花岡劇場を会場とし、大勢の観客を前にして行われた。この試合では、早くも一宮市と一宮警察署が後援となり、積極的に応援する姿勢が見られた反面、報道機関の方は、各新聞社とも、同市にある支局が後援者に名を連ねた程度であったことが対照的で、当時の社会事情をよく物語っていると見える。試合方法は、七人制で時間制、三本勝負（引き分けなし）の勝抜き戦で行われ、〈中略〉

優勝チームは、東邦高から同志社大学に進み、キャプテンとして活躍した村松廣人を大将とする名古屋ジャパニーズフェンシングが優勝したが、勝抜き戦であっただけに、大将村松廣人の剣の冴えが光った試合であった。（「覚書」より）本プログラム紙で注目されるのは、①大会名に「フェンシング」の呼称を使用しながらも、裏面には「剣道審判員」「剣道試合方法」「剣道之部」など、「剣道」という呼称で統一されている点である。学校や警察での剣道禁止の時、まさに民間での剣道は根強く行われた証左である。②大会委員の筆頭に「土川元夫」（当時、名古屋鉄道常務取締役）とあり、六番目に吉田義郎（一宮市吉田内科院長）



とあること。これは次のプログラム紙に関連する事であるので後述する。③参加チームが「尾張」「三河」「名古屋」と区分され、すでにこの頃、現在の尾張剣道連盟や名古屋市剣道連盟のような地区独自の連帯が始まっていたことがわかる。④「尾張チームA」として、名倉武雄・船橋正一の両先生を加えた「小牧剣友クラブ」が団体チームとして参加していることである。つまり、名古屋に高段者の方が多いのは当然であるが、このころ小牧にも戦中からの高段者の方々が多く、スポーツ剣道としてのクラブ発足も早かったことがわかる。

### ・一宮剣道倶楽部創立記念近県剣道大会

「一宮市では、(中略)同市大志町にあった蘇東運輸株式会社(現 名鉄運輸)の本社講堂を会場として、一宮市剣道倶楽部の主催による近県剣道大会がもたれ、愛知県、岐阜県から多数のチームが参加し激戦となった。この十日後には、西尾芳友会の主催による近県剣道大会が、西尾劇場を会場として予定(昭和二十五年五月三日)されていることをみても、当時の剣道がセキを切った奔流に似て、すさまじいものであったことがわかる。この大会に出場した西尾芳



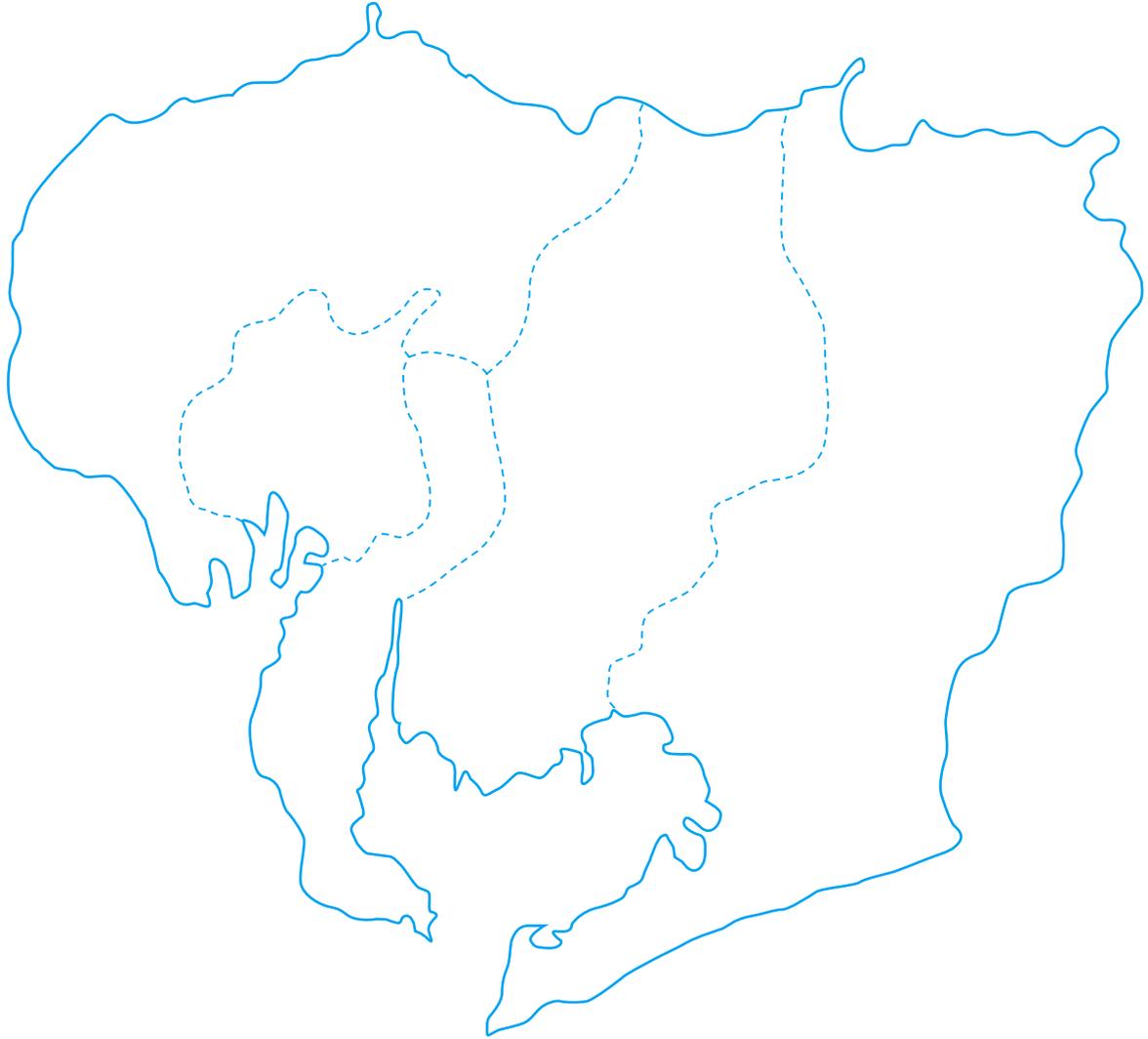
友会は(中略)激戦を勝ち抜き、準決勝戦では強敵岐阜チームを降し、決勝戦では名鉄(注:名鉄電車)を5対0で破るとい堂々の優勝であった」(「覚書」より)

敗戦後の武道禁止下にあつて、全国的な剣道復活運動の中心にいたのは東京の笹森順造先生であった。昭和二十四年十月三十日に「東京剣道クラブ代表者」として「剣道競技新規定」を示して「第一回全国剣道競技選手権大会」を東京原宿会館で開催し、同日、「新剣道研究会」を開いて剣道愛好家(一般アマチュア)の全国的な連絡組織を結成する意思統一が図られた。そして同年十一月二十五日笹森先生を会長として「東京剣道連合会」が発足し、昭和二十五年二月五日に「全日本剣道競技連盟」が発足した。これがまたGHQ民間情報局体育課の再三の指導を受けて、全国組織の仕組みはそのままに全日本撓競技連盟と名称変更し、昭和二十五年六月二十五日に再発足した。この間に四つ割り竹刀の「剣道競技」を創出(剣道を復活)するという方針は後退し、袋しないを使用する「撓(しない)競技」が創出された。

さて、本プログラム紙で注目すべきは、こういった笹森先生を中心とした東京における剣道復活運動の状況が、顕著に表れていることである。まずは、大会顧問筆頭に名のある土川元夫氏の肩書に「愛知県剣道聯合会長」とあることであり、大会名称には「剣道」の呼称が使用され、大会要旨には「我が國技剣道は今や健全なる娯楽スポーツとして進駐軍よりその発足を認められました。」と書かれていることである。開催場所も一宮市公会堂となっている。

このプログラム紙が刷られたのは、いつ頃だったのであろうか。仮に大会開催日の半月前として、昭和二十五年四月初旬である。このころまでは土川元夫氏も剣道競技としての剣道の復活が順調に進むと考えていたのかもしれない。しかし事態は急転した。プログラム紙に掲載した一宮市公会堂という公の施設では開催できない状況となり、浅井氏「覚書」にあるように、実際には蘇東運輸株式会社(現 名鉄運輸)の本社講堂での開催となった。

最後に一つ、前掲の病院長吉田義郎氏であるが、本プログラム紙にも大会顧問として「医学博士 吉田義郎」とある。民間鉄道会社常務取締役土川元夫氏と民間病院長吉田義郎氏のご助力なくしては本大会の開催もあやうかつと思えばかりである。



広報「観の眼」第四十六号

令和四年六月三十日発行

一般財団法人 愛知県剣道連盟

〒453-0035

名古屋市中村区千王町十一番

二十一号

電話 〇五二〇四八一〇〇九三

FAX 〇五二〇四八一〇〇九五

題字・故竹田弘太郎名誉会長